

ANNUAL REPORT 2021
公益財団法人静岡県文化財団
2021年度年次報告書



公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
TEL. 054-203-5710 FAX. 054-203-5716 <https://www.shizuoka-cf.org/>



<https://www.granship.or.jp/>



アーツカウンシルしずおか
ARTS COUNCIL SHIZUOKA

<https://artscouncil-shizuoka.jp/>

ご挨拶

2022年6月1日付で、鈴木壽美子前理事長の後任として理事長に就任いたしました。

歴史と伝統ある文化財団の理事長として、個性豊かな県民文化の振興や活力あふれる郷土づくりに貢献できるよう全力を尽くしてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、2021 年度を振り返りますと、オリンピック・パラリンピック文化プログラムのレガシーを引き継いだ「アーツカウンシルしずおか」の本格稼働にくわえ、特定天井対策工事のため部分休館していたグランシップが全館リニューアルするなど、喜ばしい出来事が重なりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が長期間にわたって私たちの生活に大きな影響を及ぼしているほか、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安の進行によるエネルギー価格、原材料価格の高騰が、多くの企業の収益や家計を圧迫しており、当財団の経営もその例外ではありません。

こうした厳しい経営環境が続きますが、文化芸術による心の豊かさは県民生活の向上と活力ある郷土づくりにつながるという認識のもと、より一層の研鑽を重ね、県民の皆さま、地域社会、ご支援をいただく県や関係者の皆さまに等しくご満足いただける財団として、本県文化振興の一翼を担うべく運営に努めてまいります。

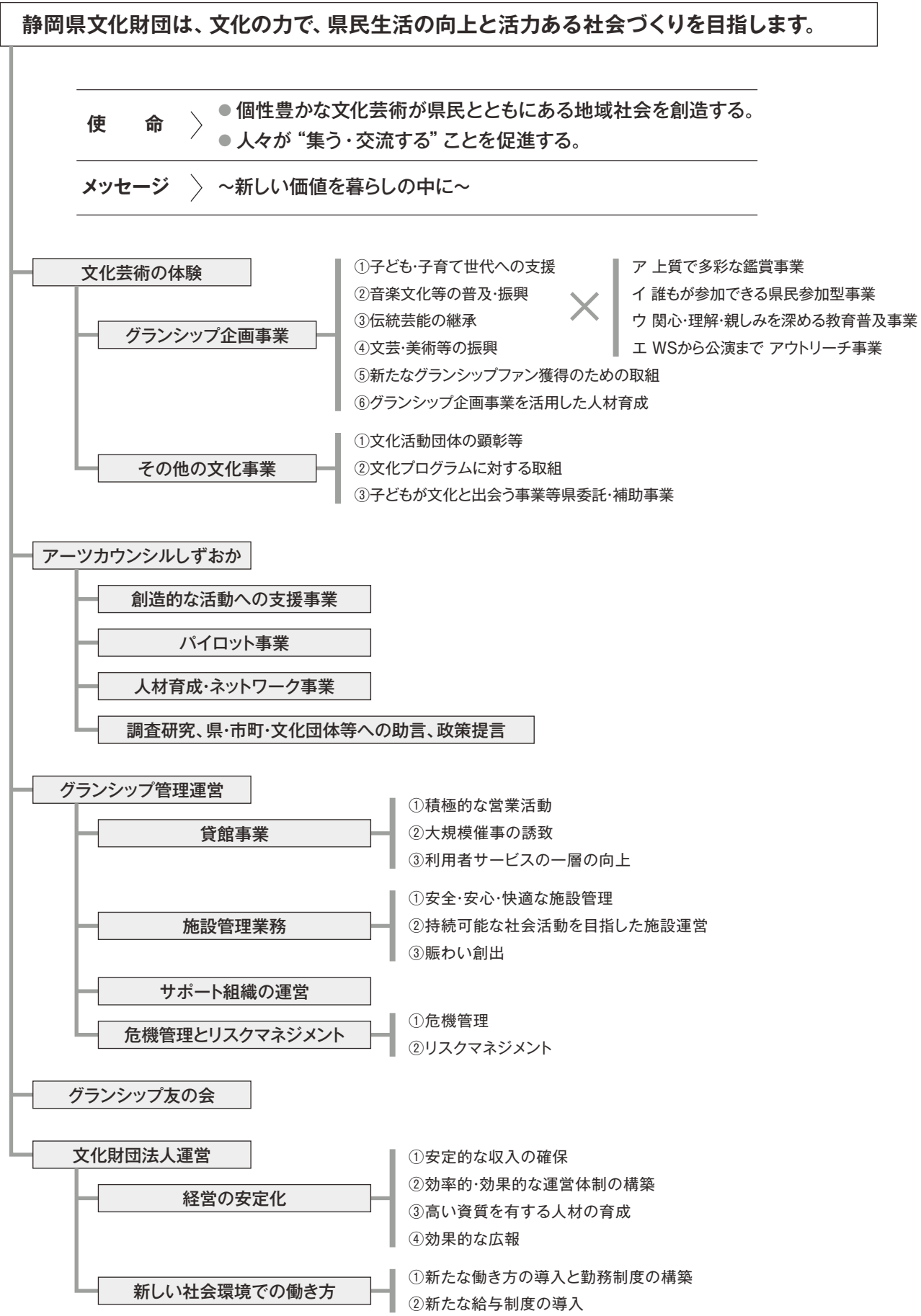
本報告書を通じ、当財団の2021年度における事業活動に対してご理解いただくとともに、今後の展望にご期待いただければ幸いです。



公益財団法人静岡県文化財団 理事長 中西勝則

目次

2021年度 事業体系図	3
2021年度 TOPICS	4
文化芸術の体験～はじめての劇場しずおか～	5
創造的な活動への支援～アーツカウンシルしずおか～	21
グランシップの管理運営～集いをささえるグランシップ～	25
データで見るその他の取り組み	30
静岡県文化財団を支える人々、2021年度ご協賛・ご協力企業	33
決算状況	34
沿革・組織図	35





グランシップリニューアルオープン

グランシップは、吊り天井を耐震化する特定天井対策工事を行うため、2020年9月8日から2021年2月28日まで全館休館。3月1日の再オープン後は、大ホール・海など工事を終えた施設から順次再開し、10月中ホール・大地が13か月ぶりに再開したことに安心・安全な施設として全館リニューアルオープンした。

10月1日(金)・2日(土)は、貸館利用者や来場者に向け様々な機会を用意。メインエントランスには貸館相談ブースを設置し、今後の利用希望者の相談に対応。施設見学会では、工事中や工事前・工事後の比較写真を使用した説明のあと、大ホール・交流ホール・会議ホールなどを案内。通常は立ち入ることのできない回廊や屋上なども併せて巡り、ひとつひとつの施設について参加者とともに、より良くなった部分や、使用方法について紹介した。

普段見られない場所を見学でき、貴重な体験ができた。

東日本大震災の教訓を生かし、対策工事が行われたことは、私たち利用者にとって安心感がある。

建物のデザインが損なわれることなく、良いところはそのまま残されていて、利用者がっかりさせないリニューアルだと実感。

改めて新しい感動を与える場所になったと思う。

来場者

リニューアル公演にふさわしい祝詞と神舞で再出発を祝う
グランシップ全館リニューアルオープン
能楽特別公演「一人翁」、「祝言之式 高砂」

10/1(金) 中ホール・大地 194人
出演:山階彌右衛門、観世芳伸 他
オンライン配信:12/19(日)~R4年3/31(木) 1,053回視聴

静岡県とゆかりの深い観世流による能楽の特別公演として「一人翁」と「祝言之式 高砂」を上演。ロビーでは、装束や能面の展示に加え、過去の能楽公演や伝統芸能普及プログラムをパネル展示にて紹介。公演の収録映像はグランシップYouTubeチャンネルにて後日配信を行い、来館できない方にも視聴できる機会を設けた。



貴重な面など、間近で拝見でき嬉しかった。また観世流と静岡のご縁がとても面白かった。

展示によって公演(演目)の背景がよく理解できた。

目の前で本物を鑑賞する、コロナ禍を経てこのありがたみをなお一層噛みしめる舞台だった。

はじめて能を見て、神業のようだと感じた。素晴らしい、迫力のある文化を間近にでき感動した。

来場者

地元・静岡が誇るオーケストラと日本を代表する歌姫による華やかな幕開け
グランシップ全館リニューアルオープン
記念コンサート

10/2(土) 中ホール・大地 371人
指揮:大勝秀也、管弦楽:富士山静岡交響楽団、ソプラノ:森麻季

大勝秀也マエストロ指揮のもと、静岡が誇るオーケストラ富士山静岡交響楽団と日本を代表する歌姫、森麻季の共演で記念コンサートを実施。8月の緊急事態宣言の発出により、発売日を2週間遅らせたものの、チケットは完売した。コロナ禍で外出が思うようにできなかった時期を経て、本物の舞台や演奏に生で触れることの大切さを改めて実感したという声が多数寄せられた。リニューアルオープンしたグランシップは、文化活動への施設利用はもちろん、「新しい価値を暮らしの中に」と、個々の生活に様々な文化との接点を創るきっかけを用意し、再スタートした。



ベートーヴェンの交響曲第7番の始まりは、本当にわくわくした。

森さんの歌声はとても美しく圧倒的だった。

コロナで元気をなくしていたので、生演奏に体がふるえるほど感動した。

久しぶりに生でオーケストラの演奏を聞くことができ大変嬉しかった。芸術の大切さを感じた。

来場者

文化芸術の体験

グランシップ企画事業
「はじめての劇場しずおか」

静岡県文化財団・グランシップの企画事業は、地域・世代・障がいの有無にかかわらず、多くの県民が文化芸術に触れる場をつくることを一つの大きな目標として掲げ、中でも、特に次代を担う子どもたちに向けて文化芸術を体験する場・環境づくりに力を入れている。感染症対策の徹底やWEBの活用等により、4つの戦略目標である「子ども・子育て世代への支援」、「音楽文化等の普及・振興」、「伝統芸能の継承」、「文芸・美術等の振興」の実現に向けて、鑑賞事業、県民参加型事業、教育普及事業、アウトリーチ事業に取り組んだ。

“子ども”と一口に言っても、グランシップは、就学前の小さな子どもたちから、大学生までを幅広くカバーする成長に合わせた様々なプログラムで、文化芸術の「はじめて」を体験するチャンスを用意している。

〈戦略目標〉

子ども・子育て世代への支援	音楽文化等の普及・振興	伝統芸能の継承	文芸・美術等の振興
---------------	-------------	---------	-----------

〈事業形態〉

上質で多彩な鑑賞事業	誰もが参加できる県民参加型事業	関心・理解・親しみを深める教育普及事業	ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業
------------	-----------------	---------------------	--------------------------

事業の戦略目標×事業形態

子ども	音楽	伝統芸能	文芸・美術
鑑賞事業	県民参加	教育普及	アウトリーチ

※事業ページでは略称で表示



子ども
県民参加

「はじめての劇場しずおか」の一步目

5月の「グランシップこどものくに」と「グランシップトレインフェスタ」は、小さな子どもとその家族が気軽に参加できる企画であり、毎年、多くの子どもたちの笑顔で館内がいっぱいになる。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事前申込等により入場者数を管理するなど、密を避けるため、例年より規模を縮小し、安全・安心を優先しての開催。コロナ禍で自粛生活が続く中、広い空間で自由に工作をしたり、鉄道模型に夢中になったり、子どもたちが少しでも心が晴れるような時間を過ごせたら、という思いで開催にこぎ着けた。

遊びながら、何かを自分で考えてつくる楽しさ、面白さを
グランシップこどものくに
～まんまるころころ～

5/2(日)～5(水・祝) 展示ギャラリー他 4,162人

ゴールデンウィーク恒例の参加型イベント「グランシップこどものくに」は、入場者数管理や整理券制等を導入し、2年ぶりの実施となった。遊びながら、何かを自分で考えてつくる楽しさ、面白さを味わって欲しい、と毎年テーマや仕掛けを工夫し、今回は「まる」をテーマに開催。例年より規模は縮小せざるを得なかったものの、グランシップは久しぶりに子どもたちの笑顔で溢れた。

GWはいつも楽しみにしている。コロナでも開催してくれたことに感謝。感染対策が万全で安心できた。

子どもたちがとても楽しそうで良かった。このイベントが継続されることを希望。

とても丁寧な声掛けで嬉しかった。スタッフ・ボランティアの方々にお礼を言いたい。

人とのかわりが少ない世の中なので、安全対策をしつつ、こういったイベントは実施してほしい。

来場者

子ども大人も一緒に楽しむ、鉄道の魅力あふれる世界
グランシップトレインフェスタ2021

5/15(土)・16(日) 全館 6,461人

21回目の開催を迎えた、子どもから大人まで楽しめる日本最大級の鉄道イベント。鉄道クラブ27団体が大会場・海をはじめ各会場で鉄道模型のデモ走行など個性あふれる展示を行った。県内の鉄道会社9社および駅弁会社も出展し、鉄道の魅力を様々な角度から紹介。新型コロナウイルス感染症の対策として、はじめてWEBでの事前申込制を導入。人数制限を行い、入口では読取機にスマートフォンをかざし入場するなど、安心してイベントを楽しめる環境を整え、家族連れで賑わう二日間となった。



コロナ禍で大変だったと思うが開催してくれてよかった。毎年楽しみにしているし、来年も開催することを望んでいる。

子供が大喜びだった。特に模型は迫力があり、幼児でも楽しめる展示や工夫があって家族で楽しめるイベントだった。

様々な模型や参加者の鉄道愛あふれる話を見聞きし、とても楽しめた。鉄道グッズや駅弁など色々そろっていて天国のようだった。

ミニSLに乗れなくて残念と思ったら、詳しく見せてもらえた上に、貴重な話も聞けて親子ともに感動した。

来場者

まずは触れてみよう! にっぽんの伝統芸能

子ども
伝統芸能
鑑賞事業

にっぽんこども劇場は、日本の伝統芸能に親しめるグランシップオリジナルのプログラムとして、これまでに能楽をはじめ文楽、寄席、浪曲、狂言、講談を実施。伝統芸能って難しいもの、と構えることなくまずは触れてみてほしいという思いや、各分野の一流の演者の芸を間近で観て聴いて体感することで、子どもたちの心に残る特別な体験となることを願い実施している。

講談のリズムと間、流れるように読まれる世界を体感

にっぽんこども劇場～講談わんだーらんど～ (2公演)

11/27(土) 交流ホール 60人
出演:宝井琴星、宝井琴鶴

にっぽんこども劇場のシリーズで初開催の「講談」。参加者は、講談についてのレクチャーを受けた後、声を出して講談のテキストを読み、独特のリズムを体験した。グリム童話をアレンジした講談「白雪姫」では、大人も子どもも良く知る物語を、あたかも目の前で繰り広げられているかのような語りで創り出される世界に、参加者は思わず引き込まれていた。楽しい空気に包まれた会場内には、手作りの張扇のプレゼントを手にして、体験の余韻を味わう家族の笑顔がこぼれていた。



子どもと一緒に楽しく学んだ。面白かったのでまたやってほしい。

気軽に参加できるサービスとしてコンビニでチケットを受け取る時、手数料がかからないのが嬉しい。

リズム感のある進行、誰もが知っている童話のアレンジに終始大満足な時間を過ごす事が出来た。

来場者

伝統の技に笑って、驚いて。和の空間で味わう日本の寄席芸

にっぽんこども劇場～寄席わんだーらんど～ (2公演)

R4年1/16(日) 大ホール 232人
出演:林家正蔵、三増紋之助、林家はな平

本格的ながらわかりやすい語り口の落語、スリル満点の曲独楽の技に、子どもたちは笑ったり目を釘付けにしたり、思い思いの反応を見せた。後半は、子どもたちが舞台上上がり、おじぎをはじめ、扇子を使って蕎麦をすすめる落語ならではの所作や、手のひらで曲独楽を回す体験も。行燈が照らす入口は和の雰囲気になり、楽しみなが家族で伝統的な寄席芸に触れるひとときとなった。



丁寧な言葉で、人を惹きつける話し方はさすが! 背筋の伸びる思いだった。

来年やったら絶対また参加したい。たくさん笑わせてもらった。

体験ができる事がよかった。とてもいい公演だった。

落語を聞いて、あまり好きじゃない煮豆が食べたくなった。

来場者

能楽師の動き、衣装、音色を目の前で

にっぽんこども劇場～能楽わんだーらんど～

R4年1/16(日) 大ホール 130人
出演:山階彌右衛門、武田祥照 他

日本で最も古い芸能のひとつである能楽の歴史や、能楽の基本的な成り立ちについて観世流能楽師が解説。囃子方が用いる鼓や太鼓は、囃子方が実際に音を奏でながら説明した。能をはじめ見る子どもたちのために、イラストを用いたあらすじ紹介の後、華やかな衣装で登場した能楽師によって演じられたのは狐の妖怪が登場する「殺生石」。一流能楽師による迫力ある動き、豪華な衣装、囃子方の音色を目の前で体験する貴重な機会となった。



子ども親も初めての能楽。もっと難しいものだと思っていたが子どもとともに楽しめた。

説明がわかりやすく良かった。

とてもきれいな舞でつい見とれてしまった。

能ってこんなにおもしろいものだと思っていたなかった。「想像性をはたらかせる」魅力を新たに発見できた。

来場者

※新型コロナウイルス感染症の影響で「グランシップ世界のこども劇場2021」の出演者が来日できないため、代わりに「にっぽんこども劇場～寄席わんだーらんど～」を開催した。

グランシップ子どもアート体験!学校プログラム

国内外の第一線で活躍するアーティスト・講師と共に静岡県内の小中学校等に出掛け、本物の芸術文化を届けるアウトリーチ事業を実施。子どもたちが本物に触れる体験を通して豊かな情操や心を育めるよう、地域の文化施設や教育機関と連携し、それぞれのニーズに応えるようなオリジナルプログラムを提供している。

人形浄瑠璃 文楽 出前講座

6/29(火) 静岡大学教育学部附属島田中学校(島田市)、6/30(水) 大川小中学校(静岡市) 計364人
講師:人形浄瑠璃文楽座

ユネスコ無形文化遺産である「人形浄瑠璃 文楽」。生徒も先生も、会場のほとんど全員が初めての文楽なので、三業をひとつずつ、太夫による「義太夫節」の解説、三味線弾きによる「三味線」の解説、人形遣いによる「人形」の解説と人形体験を通じ、学びが深まった様子。これを機に、他の伝統芸能にも興味を持ったという声も。



面白かったし、感動した。仕組みを知った後では見方が変わった。

学校で本物の文化鑑賞ができてびっくりした。機会があったら演劇や他の伝統芸能も観てみたい。

生徒

学校で体験しなければ、一生知らずに終わる生徒も少なくないのでは、と思う。

一流を見ることは、生徒にとって間違いないプラスとなる。本物の技術に触れる機会は貴重だと思った。

先生

宝井馬琴監修 講談教室

10/13(水) 服織小学校(静岡市)、12/2(木) 富士第一小学校(富士市) 計299人
講師:宝井琴星(講談師)、宝井琴鶴(講談師)

はじめに講談が落語・浪曲と並んで日本三大話芸のひとつであることや、張扇・釈台といった講談ならではの道具を使うこと、他に扇子と手ぬぐいを使って、様々な物や場面を表現することを見立てということなど、講談の基本を学んでいく。その後、実際にテキストを声に出して読んでみたり、実演を聞いたりした。子どもたちは柔軟な吸収力であったという間に講談に親しみ、楽しんでいった。



大きな声で話すのは苦手だったけど、講談のリズムはとても好きになった。やってみると面白かった。

表現力がすごく集中して体験できた。独特な話し方に強弱があってより迫力を感じた。

児童

体験を交えながら本物に触れることで、職業について楽しみながら知るキャリア教育の一つとしてとても有意義だった。

初めて触れる講談はとても新鮮だったようで、子どもたちから自然と感想が出てきた。

先生

伝統芸能普及プログラム 狂言ワークショップ

伝統芸能事業を劇場での公演だけでなく、地域と連携したプログラムとして展開し普及していくことを目指す本プログラムは、日本の芸術の魅力とともに、芸術家の物事に対する姿勢、考え方、経験を伝えることにも重点を置いている。本事業では先生に代わって狂言方能楽師が教壇に立ち、狂言の歴史や、能舞台・道具について紹介した後、舞台を体育館に移し、摺り足の体験と、「棒縛」の実演を鑑賞した。



言葉がわからなくても、面白かった。

児童

子ども達の真剣な眼差しが印象的で、オンラインでは絶対に伝わらない「本物」の力があつた。

子どもたちは「棒縛」の真似をしながら下校するほど、楽しんでいた。

先生

玉川奈々福の浪曲教室

講師は熟のこもった実演・解説を通して、時を超えて今に生きる私たちが価値観を共有することができる伝統芸能の素晴らしさと大切さを、子どもたちに伝えてくれた。伝統芸能が古びたものでなく、現代に通じているという考え方は、新鮮な刺激となったようだ。



日本では多彩な伝統芸能が今に伝わるだけでなく、全国各地のホールや劇場で毎日上演され、誰もが、いつでも鑑賞できる環境がある。それは日本が世界に誇るべき文化。

玉川奈々福

テレビのように映像などは使わず、言葉だけで表現しているのに、自然と内容が入ってきて不思議だし、すごいと思った。

児童

生き方やプロとしての姿勢、気持ちが本当に素敵で短い時間でも子どもたちの成長を感じた。

先生

中高生へのアプローチ

ホールや劇場で働く私たちは、この世代にこそ「本物の文化芸術やアートにたくさん触れて、いろいろな世界を知ってほしい」と願う。文化芸術やアートの周りには、それらが持つ歴史や多様性があり、これが正解という固定的な考えに縛られない自由な世界が広がっている。映像やイヤホンだけでは感じるできない、その時にしか体験できない特別な時間が流れる「劇場」。これらの機会や制度を活用して、近くにあるホールや劇場へ足を運んでほしい。

中学生がはじめて触れるクラシック

【出前公演】中学生のためのオーケストラ(2公演)

R4年1/28(金) 菊川文化会館アエル 468人
出演:ジョン・アクセルロッド、京都市交響楽団

「中学生のためのオーケストラ」では、国内屈指のオーケストラを招き、交響曲の全曲演奏などの本格的な演奏体験を通し、中学生に劇場鑑賞のすばらしさを体感してもらう。今回は指揮者ジョン・アクセルロッド率いる京都市交響楽団が、チャイコフスキーの交響曲第4番を演奏。新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため学校としての参加中止が相次ぎ、予定よりかなり少ない参加者数となったが、指揮者の発案で、急速「マエストロへの質問コーナー」として舞台上の指揮者と会場内の中学生が対話できる機会を設けた。世界的指揮者が気さくで真摯に中学生の質問に向き合い、音楽のみならず親交を温めた。



指揮者に合わせ、演奏の強弱がとてもはっきりして迫力があつた。指揮者は手の動きだけではなく、体全体を使い、のびのびと表現していた。

楽器の配置図と紹介がプログラムに載っていて、どの楽器をどこで演奏するのかよくわかった。

スマホで聴くのととは違ってどの音も目立っていた。高音はスマホの何倍も透き通っていて気持ち良く、低音もしっかり響き客席が少し震えた気がしたくらい迫力があつた。やっぱり生で演奏を聴くのがいいなと感じた。

演奏を聴いた後、音楽は人生の道しるべなのかと思った。あるフレーズは、まるで運命がドアをノックしているようだった。

聞いているうちに2〜3時の間が魔法で消えたかと思うほど、一瞬の出来事のようなようだった。一人一人の音が力強く、手に持つ紙が震えるのを感じるくらいすごかった。

もっと聞いてみたい!音がきれいで自分には難しいような楽器もトライしたいと思ったし、初めての経験、最高の思い出。

中学生

普段経験できないような体験で子供たちはとても感動していた。

オーケストラのコンサートは学校行事以外でほとんどの生徒が見たことがなく(クラス29人中27人なし)、間近で見て、その迫力と音色に圧倒されたようだった。生徒たちにとってとても良い経験になった。

先生

子どもたちに多彩な文化に触れる機会を提供するための鑑賞制度

チケット1,000円

子どもたちに本物の文化芸術に触れてもらうため、グランシップ主催公演の、こども・学生(小学生~28歳以下の学生)のチケット価格を1,000円に設定。

中高生鑑賞プラン

静岡県内の中学生・高校生を対象に、学校単位(クラス、部活動単位)での申込に限り、グランシップ主催公演を特別価格で鑑賞することができる制度。

料金 1公演・1生徒あたり800円
(通常1,000円、こども・学生料金が500円の場合は400円)
※1グループ(クラスまたは部活等の単位)につき、同行の先生1人を招待。

さらに同プランを利用する生徒、及び引率の先生を対象に会場までの公共交通機関(電車、バス)または貸切バスの交通費を支援する「交通費支援制度」も併せて利用可能。

静岡県高校生アートラリー

高校生には、県内の文化施設と連携して贈る「静岡県高校生アートラリー」を実施。静岡県の高校生が県内各地のホールや劇場で行われる対象公演に会場ごとに1ポイントにつき、3ポイントためると、「ファミリーチケット」(ペアチケット)をもらえなくプレゼント。

グランシップ伝統芸能普及プログラム・静岡県内大学連携事業

静岡県内の各大学と連携する本プログラムは、オリジナル性が高く、伝統芸能について、大学生や大学の教員が、直接学べる貴重な機会。芸術の魅力とともに演者の人としての魅力を伝えることに重点を置き、舞台上の技術のみならず、芸術家の物事に対する姿勢、考え方、経験等を伝達する。また、将来にわたって文化・芸術が有効な社会資源であると認識してもらうきっかけとなるべく実施している。

子ども 伝統芸能
アウトリーチ

伝統芸能普及プログラム〈大学連携〉文楽レクチャー

技芸員の解説や実演、人形遣いの体験に加え、今回は、大ホール・海を会場とした特性を生かし、本来の公演であれば絶対に観ることができない“舞台をセットの後ろから観る”などの特別な体験を盛り込んだ。

人形の動きのキレの良さに驚き、熟練された技術を感じた。また三味線の効果音としての動きは初耳だった。解説によって内容に、より厚みを感じることができた。

古文が苦手で、実演中、太夫の言葉は聞き取れない部分も多かったが、わからないのに感情が伝わるのがすごい。

学生

6/29(火) 大ホール 29人
講師:人形浄瑠璃文楽座(竹本織太夫、鶴澤清志郎、吉田一輔 他)

伝統芸能普及プログラム〈大学連携〉講談レクチャー

はじめに講師の講談調の自己紹介で講談特有の調子をつかむと、三大話芸(講談・落語・浪曲)の中では、講談の歴史が最も古く500年前頃から始まったことなど解説した。実演の鑑賞後、実際に張扇を持ち、テキストを声に出して体験。学生が講談をはじめとした寄席芸に関心を持つきっかけにもなって欲しいという側面もある。

日本語のすばらしさを感じた。手さばきと話し方がとても心地よかった。

学生

現代の作品でも講談で聞いたら面白そうと思えるものが思い浮かび、講談の可能性は無限だなと感じた。

教員

10/13(水) リハーサル室 20人
講師:宝井琴鶴(講談師)

伝統芸能普及プログラム〈大学連携〉浪曲レクチャー

浪曲にはじめて触れる学生に向けて、浪曲の歴史や成り立ちを解説した後、「お民の啖呵」を披露。また、実際に声を出して浪曲独特の節やうなりを体験した。浪曲という芸能だけではなく、伝統芸能を後世に伝えていく本物の演者の生き方や考え方、その姿勢は、大きな刺激となったようだ。

語り芸の面白さを堪能した。抑揚の見事さ、三味線がスリリングな場面に響いた。

初めて浪曲を聞いたが、自分の中のイメージがくつがえされるくらい驚きがあった。とても面白かったし、続きも気になった。

学生

12/16(木) 映像ホール 18人
講師:玉川奈々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師)子ども 音楽
アウトリーチ

【大学連携事業】仲道郁代常葉連続レクチャー

日本を代表するピアニストを講師に迎え、講義や実演から音楽の良さと味わい方を体験。将来、小・中学校の教育に携わる学生たちが、音楽の力を体感し、感性を豊かにすることについて理解を深めた。

感受性について人それぞれ感じ方が違って音楽は楽しいと改めて思った。

音の高低、強弱になぜ人間の感情が揺さぶられるのか?音楽の不思議さをまた感じさせられた。

思った以上に自分の糧になった。

学生

11/21(日)・R4年 2/16(水) 常葉大学 228人
講師:仲道郁代

静岡県文化プログラム

ふじのくに伝統芸能フェスティバル ~今、地域の芸能を次世代につなぐために~

6/6(日) 長泉町文化センターベルフォーレ
出演:伊豆の国市田京区、伊東市湯川自治区、
静岡県立駿河総合高等学校和太鼓部、
鼓童、岩下尚史、久保ひとみ 他
映像出演:富士宮囃子保存会、西島神楽団、横尾歌舞伎保存会

※静岡県文化プログラムとして、R1年3月から全3回で計画された本公演。
新型コロナウイルスの影響によりR2年5月に富士宮市で開催予定だった
3回目公演を、約1年後のR3年6月に長泉町において延期開催した。

各地域の民俗芸能は、過疎化や少子化などの問題を抱えながらも、地域の人々の努力により継承されてきた。コロナ禍になって、その課題がより深刻化している。本公演では、苦境に立たされながらも「次世代への継承」に強く想いを持ち活動する地域の団体が出演。その地道な継承活動の紹介とともに魅力あふれる芸能を披露した。また、新潟県佐渡市を拠点に世界で活躍する太鼓芸能集団「鼓童」の住吉佑太氏が、今回の駿河総合高校和太鼓部との共演のためにオリジナル曲を作曲。生徒たちは芸能の灯が未来まで輝くよう願いを込め「療(かがりび)」と名付け、その想いを響きにより観客に伝えた。

400年続く歴史のうちの1人に自分がなれたことが嬉しい。
これからの子どもたちにも続けてほしい。

伊豆の国市田京区・出演者(小学生)

各団体のコロナ禍における現状を知ることができたのがよかった。インタビューが素晴らしいくて涙が出た。また鼓童と高校生の共演にも思わず涙が出た。

各地で地域の方々、特に子どもたちの頑張っている様子がよくわかり、心強く嬉しかった。各実演もすばらしく、催行されるならぜひお祭りなどに足を運びたい。

来場者



静岡発の音楽を世界へ

音楽
鑑賞事業

壮大なるプロジェクト、ついに完結。

NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト フル・オーケストラによる完結編
野平一郎 静岡トリロジーⅢ「瞬間と永遠の歌」R4年3/6(日)
中ホール 363人

静岡から世界に発信する文化的財産となることを目指し平成30年に始まった本プロジェクト。世界を舞台に活躍する作曲家でピアニストの野平一郎に“静岡”をテーマに委嘱した新作「静岡トリロジー」(三部作)の第三作目が、新型コロナウイルスの影響による延期を経て、NHK交響楽団により世界初演された。シリーズ最大規模であるフル・オーケストラ編成に加え、前二作にない合唱パートが登場。静岡県出身の詩人・大岡信の5編の詩から抜粋された歌詞を、静岡児童合唱団・青葉会スベリオルが鮮烈に歌い上げた。曲の終盤、合唱団の掛け声に合わせて出演者全員が静止。絵画のようなその光景は、観客の心に強い印象を残した。「静岡トリロジー」は今後も東京等での演奏が予定されており、静岡から全国・世界へ飛び立つ第一歩を刻んだ。

音楽は演奏されるのは一瞬の出来事だが、それを聴いた人の心にずっと残って欲しい、と考えている。詩の最初の引用「時は涯ない 時はない」という言葉は、まさにこのタイトルと呼応している。

野平一郎

静岡トリロジー、言葉が美しい。児童合唱のみなさんがすばらしかった。

音楽と時の協奏。斬新な試みで感動した。予定調和ではない音と言葉のぶつかり合いは激しいエネルギーを感じた。

シリーズ完結にふさわしいすばらしい演奏。歌詞や音から、思いや意志が伝わってくる気がした。

来場者



上質で多彩な音楽公演

上質な音楽を、身近に体験できるグランシップの音楽公演。クラシックはもちろん、ジャズやクロスオーバー企画など多彩なジャンルで様々な音楽の楽しみ方を味わうことができる。劇場での生演奏による本物との出会い、各分野でその名を轟かせるアーティストたちの名演、プログラムを彩る名曲との出会いを、その場でしか体験できない極上の音楽体験として提案している。

ジャンルも世代も超え、音楽をどこまでも自由に楽しむ
グランシップ
プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ 小曽根真

国内外で活躍するジャズピアニスト、小曽根真。自身が還暦を迎えた特別な年に贈るライブに相応しく、盟友・中川英二郎（トロンボーン）、高橋信之介（ドラム）をメンバーに迎えオリジナル曲を披露する他、後半は小野リサが加わり、柔らかな歌声とともにボサノヴァなどのブラジル音楽を演奏。音楽のジャンルを超えた自由闊達な演奏で、観客を沸かせた。また、今回は富士市出身のサクソ奏者・中山拓海も参加。日本ジャズ界の未来を担う若手奏者とスリリングな駆け引きを見せる一幕も。

初めてのジャズはとて楽しかった。ぜひ、また来てほしい。 全員がとても楽し演奏しているのが印象的。生演奏の良さに酔いしれた。 サックスに感動。バンドメンバーもプロフェッショナル！ 来場者

12/10(金) 中ホール 715人
出演:小曽根真、小野リサ、中川英二郎、中山拓海 他
曲目:エスペランサ、オアシス、ニューシネマパラダイス 他



深い楽曲理解と瑞々しくも確かな音楽
グランシップ リサイタル・シリーズ 小菅優

独創的でコンセプチュアルな取り組みは、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を経て、グランシップ初登場となる今回、世界的な舞台で喝采を浴びてきた確かな実力で観客を魅了した。

音楽は直接的なものではないので、簡単に「音楽の力」や「元気を与える」などのきれいな言葉は言えない。でも、作品そのものが素晴らしいので、作曲家の考えを共有し、感じたり、考えたりすることは私たちに必要なことだと思う。 小菅優

空気感や情景を描き出すのが本当に素晴らしい。超越的な実力、豊かな表現に心酔させられた。 来場者

R4年1/14(金) 中ホール 252人
出演:小菅優



人気小説をテーマに、小説家・ピアニスト・調律師がピアノの魅力に迫る。
本と音楽の素敵な出会い「羊と鋼の森」

文学と音楽、それぞれの視点からより深く作品の魅力に迫るクロスオーバー企画の第二弾。調律師を志す若者の成長を描いた人気小説「羊と鋼の森」の作者と、ピアニスト、調律師が、小説に登場する「森」をイメージしたステージに登場。各分野の第一線で活躍する三人がそれぞれの視点から作品世界やピアノの魅力を語り合った。福岡 洸太郎の演奏に心を打たれた宮下奈都が「胸がいっぱいになった」と感動を伝えるシーンも。熟練の調律師である外山洋司が舞台上のピアノをその場で調律する場面では、鮮やかな手際と短時間で音がぴたり合う様子に驚きの声が上がった。

作者の作品に対する思いなどから、優しさや心のしなやかさを感じた。 世界で活躍する凄腕の調律師、一音一音はじけるような音色、それを生み出す繊細な感性に脱帽。 ピアノ演奏が秀逸！熱量がすごい。 来場者

R4年3/18(金) 中ホール 386人
出演:宮下奈都、福岡 洸太郎、外山洋司、浦久俊彦



伝統芸能に親しむ

グランシップでは、ユネスコ無形文化遺産である能楽、文楽、歌舞伎を「グランシップ伝統芸能シリーズ」として年間を通して多彩な公演を開催している。令和3年度は、特定天井対策工事期間と重なり歌舞伎の実施は見送ったが、リニューアルオープン時には、開館以来継続して取り組んでいる能楽で再開後の初公演を迎えた。敷居が高いと思われるが、解説を交えるなど、はじめてでもわかりやすいよう、間口を広げる工夫をしている。

時代物と世話物の名作をたっぷりと
人形浄瑠璃 文楽(2公演)

グランシップでは、県内で唯一「人形浄瑠璃 文楽」を継続的に上演している。昼の部では「平家物語」を題材にした「一谷嫩軍記」を、夜の部では近松門左衛門の名作「曽根崎心中」を上演。豪快な時代物と哀切極まる世話物という異なる世界観の演目を揃え、文楽の持つ魅力を多面的に体験できる機会となった。なお、公演の合間には、人間国宝の人形遣い・桐竹勘十郎氏が人形の仕組み等について解説する「わかる！文楽入門講座」を開催。伝統芸能を支える技芸員の姿に触れながら文楽への理解をさらに深める一助となった。

10/10(日) 中ホール 946人
出演:人形浄瑠璃文楽座(豊竹呂太夫、鶴澤清治、桐竹勘十郎 他)
演目:昼「一谷嫩軍記」、夜「曽根崎心中」



はじめて文楽を観たが、開演前の説明や字幕があってとても助かった。 人形の感情豊かな表情や太夫の迫力ある声。三味線の音色で臨場感ある文楽を楽しめた。 来場者

長い歴史の中で時代に応じて変化しながら伝承
グランシップ静岡能

明治以降に廃曲扱いとされ、2011年に宝生流が復活させた能「雷電(らいでん)」と、その「雷電」を元に幕末に改作された「来殿(らいでん)」を上演。菅原道真公が鬼神として登場する「雷電」と、神霊として舞う「来殿」の両方を一度に体験できる貴重な機会となった。狂言「神鳴」も演じられ、“雷尽くし”の演目を届けた。また、冒頭には時代の流れや時の権力者の意向により、変化を遂げ、新しいものを生み出しながら継承されてきた能楽の歴史について、野上記念法政大学能楽研究所の宮本圭造教授が解説。鑑賞前の解説により、能楽に対する理解をさらに深めた。

R4年1/22(土) 中ホール 304人
出演:宝生和英(能楽師) 他



学生料金があることをはじめて知った。気軽に来場でき、とてもいいと思う。この制度を知らない学生が多いと思うのもったいないと思った。 貴重な観劇の機会、間の取り方や細かい言葉の表現が心に落ちて楽しく面白かった。 来場者

全席完売ながらやむなく中止となった公演を再び！
グランシップ寄席～三遊亭圓歌・柳家三三 二人会～

2020年3月に開催を予定していた公演を、2年の月日を経て開催。完売御礼となった会場には、この日を待ちわびた多くの落語ファンが集結。林家ぼん平の開口一番にはじまり、古今東西の豊富な話題で爆笑を誘う三遊亭圓歌が新作落語を、端正な語り口が魅力の柳家三三が古典落語を披露。それぞれの持ち味を存分に発揮し、観客を唸の世界へ引き込んだ。

R4年3/13(日) 交流ホール 282人
出演:三遊亭圓歌(落語家)、柳家三三(落語家)



はじめての生の落語で、大笑いするほどとても楽しくまた来たいと思った。 数年ぶりに寄席を生の舞台上で聴くと、映像や音声だけではなく良さがあって、来た甲斐があったと思った。 来場者

静岡が生んだ名匠の偉業を振り返る

写真家・大竹省二展

7/28(水)～ 8/22(日) 展示ギャラリー 1,038人

静岡県掛川市(旧：小笠郡大須賀町)に生まれ、近代日本の写真界を駆け抜けた写真家・大竹省二の初となる大規模な回顧展を開催。焼け跡が残る戦後日本の記録、大竹の名が広く知られることとなった昭和の著名人の素顔が垣間見られるポートレート、一世を風靡した女性写真等の代表作を展示。少年時代からカメラを手に、激動の時代と真っ直ぐ向き合った大竹のドラマチックな生涯を重ねた構成の展覧会には若い世代も多く来場。写真が持つ表現力の豊かさ、時代を超えて見る人の心に残り続ける写真芸術の魅力をあらためて感じる場となった。



写真が色あせたとしても
写し出されたものは色あせない。
そういう写真を撮れることが一流。

県所蔵の作品が多く、今後も、
文化力ある静岡・自然と共存できる
静岡であってほしい。

モデルの一番良い表情や
人間味を感じるほんの一瞬を捉える
大竹氏のすごさを感じた。

来場者

アートの可能性を多角的に楽しむ

グランシップ誰もがWonderfulアート

8/28(土)～9/12(日) 展示ギャラリー 1,318人

障がいの有無を超えて、誰もが持つ豊かな感性・多彩な個性を認め合うきっかけの場となることを目指し開催する美術展。今回は、裾野市在住の現代アート作家・福井揚と福井の父・福井達雨が創設した障がい者福祉施設「止揚学園」の仲間達による作品展、全国各地で福祉とアートが出会う場を創出する活動に取り組む成実恵一の写真作品「目をつむる写真展～つむる、つながる、つたわるおもひ～」を、県内特別支援学校の生徒たちの作品展「つくるよろこび あらわすちから」と共に開催した。様々なアプローチで、アートを通して表現力の素晴らしさを伝える機会となった。



目をつむることは他者との
寛容的な関わり(許す)を
意味する。多様な価値観を
持った他者を受け入れて
いくことは、アート、文化、福
祉の大切な役割。

成実恵一

自然発生した表現の面白
さ、不器用で非合理的な
ものの尊さに、驚いたり、気
づかされたり、勇気づけら
れたり。独特の楽しさを感じ
る展覧会。

福井揚

静岡が世界に誇る文芸文化「連詩」

【出前公演】2021年しずおか連詩の会in浜松

12/12(日) アクトシティ浜松 研修交流センター音楽工房ホール 119人
出演:野村喜和夫(詩人)、四元康祐(詩人)、東直子(歌人・作家)、高柳克弘(俳人)、水沢なお(詩人)

本県出身の詩人・大岡信が提唱した連詩の創作と発表を行う「しずおか連詩の会」は、3年ぶりに浜松市で開催。浜松出身の俳人・高柳克弘、駿東郡長泉町出身の詩人・水沢なおを含む5人のメンバーが参加。浜松の地ならではの「変異するウナギヌ」と題した40編の詩が巻かれた。



“詩歌の融合”を実現できた
気がした。連詩の創始
者・大岡信さんが目指して
いたことではないかと。

野村喜和夫

参加できて夢が叶ったよ
うな気持ち。詩人から生
まれる言葉の数々に感動
しました。

水沢なお

詩人・歌人・俳人とジャン
ル・年齢の横断がとても
良かった。

イメージの広がり
がまさに変異の
連続!

解説が分かりやすく、
静岡県出身者が2人も
いて嬉しかった。

来場者

文芸・美術

鑑賞事業

宮中文化を伝える京雛をお披露目

高松宮妃のおひなさま展

R4年2/11(金・祝)～3/6(日) 展示ギャラリー 4,246人

昭和5年2月4日、第十五代将軍徳川慶喜公の孫にあたられる高松宮妃喜久子さまがご成婚のお支度としてお持ちになった京雛を展示。また特別展示として、江戸時代末期から明治にかけて活躍した浮世絵師・楊洲周延の錦絵など、子どもの学びが描かれた貴重な資料も展示。期間中には「楊洲周延の錦絵からみる江戸・明治のマナーときもの」と題したミニ講座や、小さな子どもたちも楽しめる箏のミニコンサート、紙のおひなさまを作るワークショップなども実施。併せて、静岡市の伝統工芸で全国でも有数の産地である雛具や雛人形を同時展示。女の子の無病息災と健やかな成長を祈る日本の伝統文化、歳時記として世代から世代へと大切に伝承されるひなまつりを様々な切り口で紹介した。



知ってはいたが
はじめて拝見した。
とても素晴らしい。
早春の行事として
大切なもの。
続けてほしい。

新しい展示も沢山
あり、工夫が感じ
られて良かった。
バラエティに富ん
だ展示、楽しく拝
見した。

子どもとワークショップ
で思い出のおひなさま
を作れてよかった。展示
も貴重なものを見ることが
でき、心があたたく
なった。

特別展示の楊洲周延がとても良かった。今回初めて知り、
貴重な資料、また芸術作品として、興味深く楽しめた。

来場者

文芸・美術

県民参加

五人囃子の奏でる音色

雛の宴～五人囃子のひなまつり～

R4年2/19(土) 交流ホール 92人
出演:大倉源次郎(大倉流小鼓方十六世宗家・人間国宝)、
大島衣恵(喜多流シテ方) 他

「高松宮妃のおひなさま」の関連イベント。一般的な雛人形の五人囃子は、能楽囃子方と地謡による演奏形式が多く用いられる。それらを再現すべく一流の能楽師が集い、華やかな演奏でひなまつりを祝った。舞囃子「西王母」では、三千年に一度、花が咲き、実がなるという桃を侍女に持たせ、天から舞い降りた西王母の舞を披露。能楽の歴史や楽器の紹介もあり、はじめての方も楽しめる内容となった。



とても素敵な時間。先生のお話は
大変興味深く、お話とともに演奏が聴け
る機会・企画をまたやって欲しい。

エアー謡い、小鼓体験
が面白かった。お道具
の特長も楽しめた。

シテ方が能のすべてではなく、
囃子方の役割、重要性がわかっ
た。先生の説明が素晴らしい。

演奏・お道具についてこんなに詳しく聞けたのは
はじめて。習い事やお教室に縁が遠い人でも
気軽にお稽古を体験出来るのは嬉しい。

来場者

伝統芸能

教育普及

グランシップ文化講座

最先端の科学技術や社会問題をテーマに文化を幅広くとらえ、日本の第一人者が、若い人たちを中心に共に未来を考える「グランシップ文化講座」を開催した。

子ども

教育普及

世界が注目する米中情勢

10/9(土) 会議室1001・オンライン 74人
講師:久保文明、国分良成

新型コロナウイルス後の世界においても中心となるアメリカと中国について、両国の現状や各々の国の立場からみた関係をアメリカ・中国の順に2人の講師が論じた。トークセッションでは、今後の国際社会の展望と日本との関わりに加え、「ここでしか聞けない」話も飛び出し、密度の濃い講座となった。

とても分かりやすく
説明いただいて、
初心者の方もすごく
理解できた。

来場者



宇宙と文明～鉄文明の起源～

R4年2/26(土) 会議室1001・オンライン 61人
講師:松井孝典

「文明はなぜ発展するのか」をキーワードに、現在進行形で研究が進む世界最古の文明について、「宇宙との関わり」という視点を交えた講座となった。講師から学生へのメッセージ「常に疑問と好奇心を持って」は、本講座が目指す「未来に向けた前向きな行動を実践する」ための姿勢にも共通するものであった。

鉄文明と宇宙がどんな
風に関わり合うのか興
味があつた。難しいけ
ど楽しかった。

来場者



2021年度 主催事業

戦略目標		事業形態	日程	催事名	出演者	会場		財団以外の主催・共催 (☆は主催:静岡県)
子ども、子育て	伝統芸能	上質多彩	11/27(土)	につぼんこども劇場～講談わんだーらんど～(2公演)	出演:宝井琴星(講談師)、宝井琴鶴(講談師)	交流ホール	子どもたちが「講談」に触れる公演。講談のテキストに挑戦する体験コーナーも。 演目:講談「白雪姫」	☆
子ども、子育て	伝統芸能	上質多彩	1/16(日)	につぼんこども劇場～寄席わんだーらんど～(2公演)	出演:林家正蔵(落語家)、三増紋之助(曲独楽)、林家はな平(落語家)	大ホール・海	子どもたちが「落語」「曲独楽」に触れる公演と寄席体験 演目:落語「みそ豆」(林家正蔵)、曲独楽(三増紋之助)、落語「つる」(林家はな平) 寄席体験ワークショップ/高座体験、曲独楽体験	☆
子ども、子育て	伝統芸能	上質多彩	1/16(日)	につぼんこども劇場～能楽わんだーらんど～	出演:山階彌右衛門、武田祥照(シテ方観世流能楽師)他	大ホール・海	子どもたちが「能楽」に触れる公演 演目:「殺生石」	☆
子ども、子育て		県民参加	5/2(日)～5(水・祝)	グランシップこどものくに～まんまるころころ～		展示ギャラリー 他	「まる」をテーマに様々な遊びや空間をつくり親子で楽しめるイベント ※入場者管理や整理券制等を導入、2年ぶりの実施	☆
子ども、子育て		県民参加	5/15(土)16(日)	グランシップトレインフェスタ2021		全館	鉄道模型コーナーや駅弁販売等、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント ※事前申込制を導入	☆
子ども、子育て	音楽文化	県民参加	11/28(日)	グランシップ全館リニューアル公演 ねむの木学園のこどもたちコンサート ～まり子おかあさんの心とともに～	出演:「ねむの木学園」の子どもたち、教職員	中ホール・大地	多様な価値観を尊重する環境づくりのためのコンサート 曲目:「ママに捧げる詩」 他	☆
子ども、子育て		県民参加	11/27(土)	グランシップ冬のおくりもの2021	企画協力:八木朋美(静岡福祉大学講師)、永治晃子(アーティスト)、睡(ハルーンアーティスト)、静岡県立中央図書館、静岡県立島田工業高校 コンサート出演:浜松交響楽団 ツリー制作:千葉広一	大ホール・海 他	オリジナルクリスマスツリーの展示、家族で楽しめるワークショップ、ミニコンサートなどを楽しめる体験型イベント	☆
子ども、子育て	音楽文化	県民参加	12/19(日)	親子で楽しむ浜響クリスマスコンサート ～お話と音楽によるくるみ割り人形～	出演:松岡究(指揮)、浜松交響楽団(管弦楽)、戸田弥生(ヴァイオリン)、須川展也(サクソフォン)、田辺一邑(語り)	大ホール・海	県内のアマチュアオーケストラによる子ども向けクラシックコンサート (曲目) チャイコフスキーバレエ音楽「くるみ割り人形」作品71(ハイライト) 他	☆ 公益財団法人浜松交響楽団
子ども、子育て	音楽文化	教育普及	5/2(日)～5/5(水・祝)	グランシップアウトリーチ登録アーティスト事業 (グランシップこどものくに グランシップ音楽隊ミニコンサート)	出演:小林摩湖(ピアノ)、牧野早央里(オーボエ)、久米涼子(ピアノ)、TrioWINGS(戸村愛美(サクソフォン)、三浦玲太(サクソフォン)、村上夢子(ピアノ))、近藤千晶(クラリネット)、田中亚希子(ピアノ)	芝生広場 他	アウトリーチ登録アーティスト事業として、こどものくにのサブイベントとなるミニコンサートを実施 (曲目)ト調のメヌエット他	☆
子ども、子育て		教育普及	10/9(土)	グランシップ文化講座 世界が注目する米中情勢	講師:久保文明、国分良成	会議室1001・オンライン	最先端の科学技術や社会問題をテーマに文化を幅広くとらえ、日本の第一人者が参加者と将来と一緒に考える講座 第一部「アメリカは中国をどのように見ているか」 第二部「中国問題と米中関係」	☆
子ども、子育て		教育普及	2/26(土)	グランシップ文化講座 宇宙と文明～鉄文明の起源～	講師:松井孝典	会議室1001・オンライン	最先端の科学技術や社会問題をテーマに文化を幅広くとらえ、日本の第一人者が参加者と将来と一緒に考える講座 前半「宇宙と文明の関わり～文明の起源～」 後半「鉄文明はいつ始まったのか?」	☆
子ども、子育て	音楽文化	アウトリーチ	⑦7/13(火) ②11/9(火) ③11/10(水) ④12/1(水) ⑤12/14(火)	【グランシップ子どもアート体験】 グランシップアウトリーチ登録アーティストミニコンサート (特別支援学校5校)	①L'amen(池谷 隼人(サクソフォン)、漆畑 孝亮(オーボエ)) ②福本礼美(箏) ③栗ポーンカルテット(栗原良紘(チューバ)、伊藤梨紗・小野和将(トロンボーン)、伊藤康平(バス・トロンボーン)) ④ALBOSトリオ(古川春美(パーカッション)、望月恵(マリンバ)、久米涼子(ピアノ)) ⑤大石啓(ピアノ)	①富士特別支援学校富士宮分校(富士宮市) 他4校	グランシップアウトリーチ登録アーティストによるアウトリーチ公演 (その他の実施校) 静岡県立 ②沼津・③清水・④西部・⑤静岡北 特別支援学校	☆
子ども、子育て	伝統芸能	アウトリーチ	6/29(火) 6/30(水)	【グランシップ子どもアート体験】 人形浄瑠璃文楽出前講座(2校)	講師:人形浄瑠璃文楽座(竹本織太夫、鶴澤清志郎、吉田一輔 他)	静岡大学教育学部附属島田中学校(島田市) 大川小中学校(静岡市)	小中学生向けの文楽協会の協力による文楽講座 演目:「伊達娘恋緋鹿子」～火の見櫓の段	☆
子ども、子育て	伝統芸能	アウトリーチ	10/13(水) 12/2(木)	【グランシップ子どもアート体験】 六代目宝井馬琴監修講談教室(2校)	講師:宝井琴星(講談師)、宝井琴鶴(講談師)	服織小学校(静岡市) 富士第一小学校(富士市)	小学生向けの本県出身の六代目宝井馬琴監修の講談教室	☆
子ども、子育て	伝統芸能	アウトリーチ	10/18(月) 11/30(火)	【グランシップ子どもアート体験】狂言ワークショップ(2校)	講師:三宅右矩、三宅近成、金田弘明(狂言方と泉流能楽師)	清水船越小学校(静岡市) 神久呂小学校(浜松市)	小学生向けの狂言教室	☆
子ども、子育て	伝統芸能	アウトリーチ	12/16(木) 12/17(金)	【グランシップ子どもアート体験】玉川奈々福の浪曲教室(2校)	講師:玉川奈々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師)	初倉小学校(島田市) 焼津南小学校(焼津市)	小学生向けの浪曲教室	☆
子ども、子育て	伝統芸能	アウトリーチ	6/29(火)	伝統芸能普及プログラム<大学連携>文楽レクチャー	講師:人形浄瑠璃文楽座(竹本織太夫、鶴澤清志郎、吉田一輔 他)	大ホール・海	大学生向けの文楽技芸員による文楽ミニ講義と実演を交えた講座 演目:「伊達娘恋緋鹿子」～火の見櫓の段	☆
子ども、子育て	伝統芸能	アウトリーチ	10/13(水)	伝統芸能普及プログラム<大学連携>講談レクチャー	講師:宝井琴鶴(講談師)	リハーサル室	大学生向けの講談教室 演目:「那須与一 扇の的」	☆
子ども、子育て	伝統芸能	アウトリーチ	12/16(木)	伝統芸能普及プログラム<大学連携>浪曲レクチャー	講師:玉川奈々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師)	映像ホール	大学生向けの浪曲レクチャー 演目:「お民の啖呵」	☆
子ども、子育て	文芸・美術	アウトリーチ	11/21(日)	詩人と語ろう!言葉を語ろう!	講師:野村喜和夫(詩人)	アクトシティ浜松研修交流センター会議室	しずおか連詩の会参加詩人による詩の創作ワークショップ	☆
子ども、子育て	音楽文化	アウトリーチ	11/21(日) 2/16(水)	【大学連携事業】仲道郁代常葉連続レクチャー	講師:仲道郁代(ピアニスト)	常葉大学	ピアニストが常葉大学で初等教育を学ぶ学生に向けて音楽を用いて実施したレクチャー	☆
子ども、子育て	音楽文化	アウトリーチ	1/28(金)	【出前公演】中学生のためのオーケストラ(2公演)	出演:ジョン・アクセルロッド(指揮)、京都市交響楽団(管弦楽)	菊川文化会館アエル	県内中学生を招待し上質なオーケストラ音楽を体験できるコンサート (曲目) チャイコフスキー:交響曲第4番 他	☆
	音楽文化	上質多彩	12/10(金)	グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ 小曽根真 CHRISTMAS JAZZ OZONE60 'THE SONGS'	出演:小曽根真(ピアノ)、小野リサ(ヴォーカル、ギター)、中川英二郎(トロンボーン)、中山拓海(サクス)、石川紅奈(ベース)、高橋信之介(ドラム)	中ホール・大地	ジャズ界のレジェンド小曽根真と小野リサ、若手によるジャズライブ (曲目) エス・バランサ、オアシス、ニューシネマパラダイス 他	☆
	音楽文化	上質多彩	1/7(金)	静岡ガスPRESENTS グランシップ&静響ニューイヤーコンサート	出演:高関健(指揮)、富士山静岡交響楽団(管弦楽)、郷古廉(ヴァイオリン)	大ホール・海	地元プロオーケストラによる新春を祝うクラシックコンサート (曲目) チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35、ヨーゼフ・シュトラウス:ポルカ・マズルカ「おしゃべりな女(ひと)」op.144、ヨハン・シュトラウスⅡ世:皇帝円舞曲 op.437、ワルツ「美しく青きドナウ」 他	一般財団法人 富士山静岡交響楽団
	音楽文化	上質多彩	1/14(金)	グランシップ リサイタル・シリーズ 小菅優	出演:小菅優(ピアノ)	中ホール・大地	瑞々しい感性と深い楽曲理解、高度なテクニクと美しい音色で注目されるピアニストによるリサイタル公演 (曲目) シューベルト:幻想曲「さすらい人」 他	☆
	音楽文化	上質多彩	2/11(金・祝)	グランシップ ヴァレンタイン・ジャズ・ライブ akiko	出演:akiko(ヴォーカル)、ブルームーンカルテット<黄啓傑(トランペット)、富永寛之(ギター/ウクレレ)、木村純士(ドラム)>、※ブルームーンカルテット工藤精(ベース)に代わり小林創(ピアノ)	交流ホール	多彩な活動を展開するジャズシンガー・akikoによるジャズライブ (曲目) フライ・ミート・ウ・ザ・ムーン、マイ・ファニー・ヴァレンタイン 他	☆
	音楽文化	上質多彩	3/6(日)	NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズⅢ	出演:野平一郎(指揮)、NHK交響楽団(管弦楽)、静岡県児童合唱団(合唱)	中ホール・大地	NHK交響楽団と野平一郎によるプロジェクトシリーズの完結編 (曲目) 野平一郎:静岡トリロジーⅢ「瞬間と永遠の歌」 他	☆
	音楽文化	上質多彩	3/18(金)	本と音楽の素敵な出会い「羊と鋼の森」	出演:宮下奈都(作家)、福岡洸太郎(ピアノ)、外山洋司(調律師)、浦久俊彦(ナビゲーター)	中ホール・大地	小説「羊と鋼の森」をテーマにした トークと演奏による公演 (曲目) ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第23番「熱情」他	☆
	音楽文化	教育普及	1/10(月・祝)	NHK交響楽団×野平一郎プロジェクトシリーズⅢ 事前レクチャー 野平一郎のオーケストラ塾	講師:野平一郎	大ホール・海・オンライン	本公演をより楽しむための事前レクチャー ※ライブ配信とアーカイブ配信実施	☆
	音楽文化	アウトリーチ	1/29(土)	【出前公演】京都市交響楽団名曲コンサート	出演:ジョン・アクセルロッド(指揮)、京都市交響楽団(管弦楽)、横山幸雄(ピアノ)	菊川文化会館アエル	国内有数のプロオーケストラによる名曲コンサート (曲目) チャイコフスキー:交響曲第4番、ピアノ協奏曲第1番他	☆ 菊川文化会館アエル
	伝統芸能	上質多彩	10/10(日)	人形浄瑠璃 文楽(2公演)	出演:人形浄瑠璃文楽座(豊竹呂太夫、鶴澤清治、桐竹勘十郎 他)	中ホール・大地	文楽協会による人形浄瑠璃公演 演目:(昼の部)「一谷嫩軍記」～熊谷桜の段～熊谷陣屋の段 (夜の部)「曽根崎心中」～生玉社前の段～天満屋の段～天神森の段	☆
	伝統芸能	上質多彩	1/22(土)	グランシップ静岡能	出演:宝生和英(シテ方宝生流二十代宗家)、前田尚廣(シテ方宝生流能楽師) 他	中ホール・大地	宝生流能楽師による本格的な能楽公演 (演目) 能「雷電」、半能「来殿」 他	☆ 静岡県能楽協会 静岡新聞社・静岡放送

2021年度 主催事業

戦略目標	事業形態	日 程	催 事 名	出 演 者	会 場	財団以外の主催・共催 (☆は主催:静岡県)		
	伝統 芸能	上質 多彩	3/13(日)	グランシップ寄席～三遊亭圓歌・柳家三三 二人会～	出演:三遊亭圓歌(落語家)、柳家三三(落語家)	交流ホール	人気・実力を兼ねそろえた2人による良質な話芸	☆
	伝統 芸能	教育 普及	2/19(土)	雛の宴～五人囃子のひなまつり～	出演:大倉源次郎(大倉流小鼓方十六世宗家)、大島衣恵(喜多流シテ方能楽師) 他	交流ホール	「高松宮妃のおひなさま展」関連事業。能楽の囃子方による能楽公演 演目:「西王母」他	☆
	文芸・ 美術	上質 多彩	7/28(水)～ 8/22(日)	写真家・大竹省二展		展示ギャラリー	本県出身の写真家・大竹省二の初となる回顧展	☆
	文芸・ 美術	県民 参加	8/28(土)～9/12(日)	グランシップ誰もがWonderfulアート	福井揚(美術作家)、止揚学園、成実憲一(ヴァリアスコネクションズ理事長)、県内特別支援学校	展示ギャラリー	多様な人々が参画し、表現や個性を認め合うことを目的とした展示会 (期間中の関連イベントは中止)	☆
	文芸・ 美術	県民 参加	2/11(金・祝)～3/6(日)	高松宮妃のおひなさま展		展示ギャラリー	静岡県所蔵の高松宮妃ゆかりのおひなさまの展示	☆
	文芸・ 美術	県民 参加	2/20(日)	ふじのくに芸術祭春の祭典「授賞式」「総合開会式」		中ホール・大地	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典授賞式と開会式(県との共催)	☆
	文芸・ 美術	アウト リーチ	12/12(日)	【出前公演】2021年しずおか連詩の会in浜松	出演:野村喜和夫(詩人)、四元康祐(詩人)、東直子(歌人・作家)、高柳克弘(俳人)、水沢なお(詩人)	アクトシティ浜松研修交流センター 音楽工房ホール	本県出身の詩人・大岡信が提唱した連詩の創作と発表	☆ 公益財団法人浜松市文化振興財団 静岡新聞社・静岡放送
	伝統 芸能	上質 多彩	10/1(金)	グランシップ全館リニューアルオープン 能楽特別公演	出演:山階彌右衛門、観世芳伸(シテ方観世流能楽師) 他	中ホール・大地	リニューアルオープンを寿ぐ観世流能楽師による公演 (演目)「一人翁」、「祝言之式 高砂」 他	☆
	音楽 文化	上質 多彩	10/2(土)	グランシップ全館リニューアルオープン 記念コンサート	出演:大勝秀也(指揮)、富士山静岡交響楽団(管弦楽)、森麻季(ソプラノ)	中ホール・大地	リニューアルオープンを静岡が誇るオーケストラと日本を代表する歌姫の共演で華やかに彩る公演 <曲目>ベートーヴェン:交響曲第7番イ長調作品92、グノー:歌劇「ファウスト」より“宝石の歌” ロッシーニ:歌劇「セミラーミデ」より“麗しい光が”、ベッリーニ:歌劇「ノルマ」より“清らかな女神よ” 他	☆
	伝統 芸能	上質 多彩	6/6(日)	静岡県文化プログラム 「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」	出演:伊豆の国市田京区、伊東市湯川自治区、静岡県立駿河総合高等学校和太鼓部、鼓童、岩下尚史、久保ひとみ 他 (映像出演)富士宮囃子保存会、西島神楽団、横尾歌舞伎保存会	長泉町文化センターベルフォーレ	次世代育成や技術の継承を一つのテーマとし、実演とともに地域で活動している民俗芸能団体のコロナ禍における現状・課題などを紹介	☆ 静岡県文化プログラム推進委員会 長泉町文化センターベルフォーレ

※参考 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した公演等

戦略目標		事業形態	日程	催事名	会場	中止等
	音楽 文化	県民 参加	8/1(日)	グランシップ音楽の広場2021	大ホール・海	中止
	音楽 文化	県民 参加	8/15(日)	グランシップビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2021	大ホール・海	中止
子ども、 子育て	伝統 芸能	アウト リーチ	10/8(金) 11/11(木)	伝統芸能普及プログラム触れてみよう能楽師	掛川市生涯学習センター	中止
子ども、 子育て	文芸・ 美術	アウト リーチ	—	【グランシップ子どもアート体験!】連詩をつくろう!ワークショップ(1校)	浜崎小学校(下田市)	中止
	伝統 芸能	アウト リーチ	9/11(土)	【出前公演】グランシップ静岡能 能楽入門公演	御殿場市民会館	中止
	音楽 文化	アウト リーチ	11/23(火・祝)	【出前公演】フィンランド発 驚異のハーモニカ・カルテット スヴェング	袋井市月見の里学遊館	中止
	音楽 文化	アウト リーチ	11/25(木)	【出前公演】ロイヤルコンサートヘボウ管弦楽団 プラス・アンサンブル	沼津市民文化センター	中止
子ども、 子育て	音楽 文化	アウト リーチ	—	【出前公演】フィンランド発 驚異のハーモニカ・カルテット スヴェング アウトリーチ(1校)	—	中止
子ども、 子育て	音楽 文化	アウト リーチ	—	【出前公演】ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 プラス・アンサンブル アウトリーチ(1校)	—	中止
子ども、 子育て	音楽 文化	アウト リーチ	10/14(木)〜15(金)	【出前公演】ウィーンの風〜ウィーン木管五重奏団	アクトシティ浜松 他	※R4年10/13に延期
子ども、 子育て	音楽 文化	上質 多彩	1/15(土)〜17(月)	グランシップ世界のこども劇場2022〜WINTER〜	大ホール・海	代わりに1/16(日) 「につぼんこども劇場〜寄席 わんだーらんど〜」を開催

グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに関係する教育関係者、福祉関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「静岡県公立ホール連携支援研修事業」や大学生を対象としたインターンシップを実施。静岡県ゆかりの音楽家を活用し、実演によるミニコンサート在教育機関と連携しながら県内各地で実施する「グランシップアウトリーチ登録アーティスト」を発展させる形で、制度をリニューアルした「グランシップ登録アーティスト」の育成を開始した。

静岡県公立ホール連携支援研修事業

県内の公立ホールの職員等を中心に6か月にわたり実践的な研修を実施。新型コロナウイルス感染症の影響に翻弄される一方、文化・芸術が果たす役割や可能性に改めて目を向け、様々な状況の変化に迅速・柔軟に対応していくために、今どんなことが出来るのか、公立ホールの果たす役割を考えていくことを目的とした。研修生の抱えている課題を見つけ、研修の目的を共有することからスタート。公立文化施設をとりまく環境変化と課題を理解・共有し、公立ホールの使命を考え、それを実現するための制作手法などを各講義やグループディスカッション等を交え、学んでいった。集大成として各ホールで実践できる事業企画の組み立てをプレゼンテーション。さらに、研修を一過性のものとせず、将来、館同士による連携事業の実現も見据えている。

公立ホールの意義や、私たち職員がやるべきことを網羅する内容・講師陣で、大変有意義な研修だった。

他の会館の職員と知り合い、課題や悩みを共有できたことは、大きな収穫となった。研修後、職場で研修報告をしたが、とても好評だった。

参加者

6月～12月、R4年3月 全10回 延べ136人 (※開催当時の肩書)
 【講師】坂元勇仁(レコーディング・ディレクター)
 花田和加子(ヴァイオリニスト 地域創造公共ホール音楽活性化事業コーディネーター)
 中村美帆(静岡文化芸術大学 准教授)
 出口亮太(長崎市チトセピアホール・長崎市北公民館 館長)
 林健次郎(愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)広報・マーケティング部長) 他



インターンシップ

グランシップでは公共劇場を担う人材育成の第1歩として、文化事業の「現場」を体験するインターンシップを実施。「将来劇場や舞台芸術に関わる職業に就きたい」「アートマネジメントや文化政策を学んでいる」「音楽、演劇、伝統芸能などの文化芸術に興味がある」「大規模な公演・イベントの準備や運営に参加してみたい」といった学生が参加。文化事業に関する様々な業務に関わることで文化施設の仕事を体験し、研修や実習を通じて静岡県における文化振興や舞台芸術の仕事について理解を深める機会になった。

「目的として何が大切かを考える」という言葉が特に印象に残った。いつも目的が根拠にあることが重要だと改めて学んだ。

大学の講義では聞くことができない具体的な話からは、ひとつひとつが、たくさんの手をかけて作られた事業であること、実際に設営・本番・撤去まで携わる体験では、体力は欠かせないと感じた。

学生

6月～R4年1月 2コース 計18回 延べ147人



グランシップ登録アーティスト

平成26年度から令和3年度まで4期10組21名の静岡県内ゆかりの音楽家が登録し、学校へのアウトリーチ『グランシップ 子どもアート体験!学校プログラム』を中心にグランシップ内外で活動してきた「グランシップアウトリーチ登録アーティスト」。さらに子どもたちが音楽に親しむ環境づくりを強化するため「グランシップ登録アーティスト」として制度をリニューアル。翌年度のデビューに向けて、募集、オーディション、半年間に渡る研修プログラムなどを実施、新たなスタートを切った。

研修で聴く側になってみると、新しい気付きがあり、演奏だけでなくトークも含め、改めてプログラムを思案したいと思った。

登録アーティスト

7月～12月 登録アーティストアウトリーチ8回
 登録アーティスト延べ17人、参加小学生等503人



創造的な活動への支援



アーツカウンシルしずおか
 ARTS COUNCIL SHIZUOKA

～視点をかえる 発想をひらく～ すべての県民がつくり手

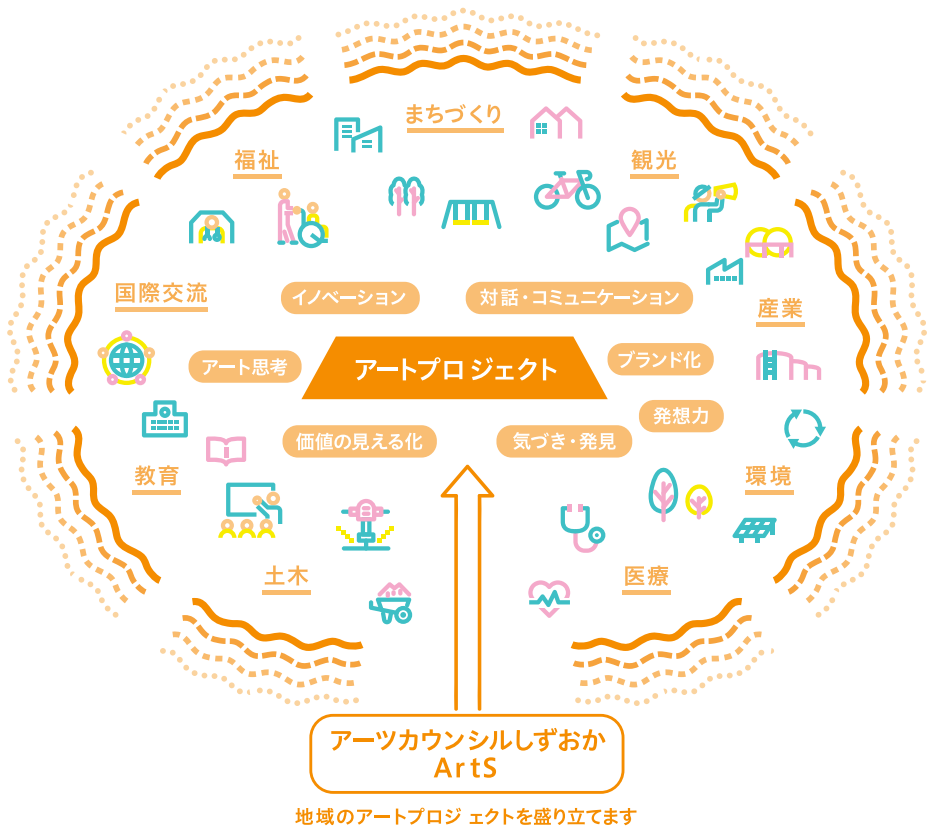
社会の様々な分野の担い手による地域の活性化や、社会課題への対応を目指す住民主体の創造的活動(アートプロジェクト)を支援するアーツカウンシル事業が2021年4月より本格稼働。「すべての県民がつくり手」となることを目指し、「視点をかえる発想をひらく」をキャッチフレーズに、文化・芸術の持つ創造性を活かし物事の見方に変化を促し、発想の広がりや価値観の転換を後押しする多彩な事業を試行、推進する初年度となった。



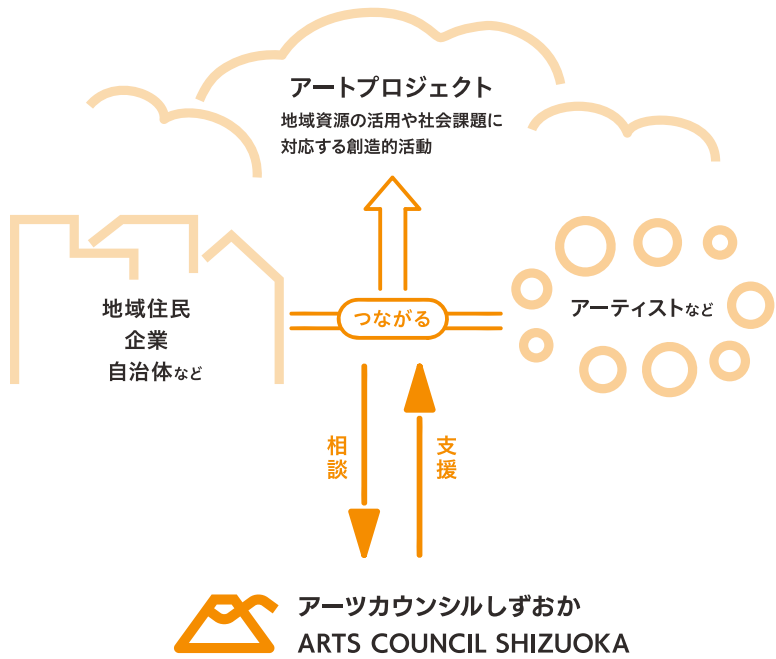
2021年度「文化芸術による地域振興プログラム」実施団体キックオフ・ミーティング

アートカウンシルしずおか とは

アートカウンシルしずおかは、“すべての県民がつくり手（表現者）”となることを目指して、誰もが持っている創造力が活かされる道をひらき、まちづくりや観光、福祉、教育など、社会の様々な分野においてイノベーションが生まれる創造的な地域づくりに貢献する組織。アーティストやプロジェクトの主催者だけが輝くのではなく、住民や鑑賞者など多様な人々が「つくり手」としても参加できるような仕組みや工夫を試みる、地域や社会の課題に対応したアートプロジェクトへの支援を中心に、関係各所とのネットワークづくりや、地域資源・文化活動の調査研究等にも取り組む。



アートカウンシルしずおかの役割



実施事業

1 文化芸術による地域振興プログラム

住民主体のアートプロジェクトを活性化するため、社会の様々な分野の担い手がプロデューサーとなり、地域資源や社会課題を顕在化させ、地域活性化や課題への対応を目指す創造的なプログラムを募集。採択したプログラムについて、経費の一部を助成するとともに、プログラム・ディレクター、コーディネーターが団体のニーズに応じた助言等の支援を随時行った。

制度内容、交付決定

助成金の区分	対象	助成金額上限	補助率上限	応募件数	交付決定件数
地域はばたき支援	他のモデルとなる取組	5,000千円	助成対象経費の4分の3以内 又は2分の1以内	8件	8件
地域かがやき支援	先駆的取組	2,000千円		17件	9件
地域はじまり支援	試行的な取組	300千円	助成算定経費※の10分の10	10件	5件
計				35件	22件

※助成事業の実施に要する経費から補助金、負担金、その他の収入（自己資金を除く）を控除した額のうち助成対象経費に該当する経費

2 マイクロ・アート・ワーケーション

住民とアーティスト等のクリエイティブ人材が出会うきっかけをつくり、地域の魅力発信や、関係人口の増加、住民主体のアートプロジェクトの創出などに寄与することを目的に、クリエイティブ人材のワーケーションを促進した。クリエイティブ人材（旅人）を迎え入れ、地域住民との交流を支援する団体（ホスト）と、ワーケーションを行う「旅人」を募集し、アートカウンシルでマッチング等を実施。「旅人」は、令和3年11月15日（月）～令和4年3月30日（水）の間、3泊4日～6泊7日（推奨6泊7日）でホストの活動エリアに滞在し、地域の魅力をWEBサイト「note」上のページで発信した。

マッチングの状況

	ホ ス ト	旅 人
対 象	県内に拠点を置く様々な分野の団体	クリエイティブ人材 （アーティストやクリエイター、ディレクターなど）
募集期間	9月10日（金）～9月24日（金）	9月28日（火）～10月11日（月）
応 募 数	18団体	223人（26都府県）
決 定 数	16団体 （まちづくり:9団体、交流:4団体、文化:3団体）	決定64人→実施61人（14都府県）

3 文化芸術による地域経済活性化モデル形成のためのパイロット事業

企業の拠点施設や生産現場等で、地域住民や社員を対象としたワークショップ等を開催し、地域課題の検証や将来ビジョンを作成すること等を通じ、企業の力を、住民の創造性を発揮する機会の創出や社会的起業等に活かしてもらうためのモデル形成に取り組んだ。こうした過程にアーティスト等のクリエイティブ人材が加わることで、視点の変化や、課題への新たなアプローチが生まれることも期待した。

連携企業

法人名（所在地）	対象地域
ACAO SPA&RESORT株式会社（熱海市）	熱海市
有限会社日の出企画（三島市）	沼津市、三島市、富士市、裾野市、長泉町、小山町
株式会社CREA FARM（静岡市）	藤枝市
有限会社春華堂（浜松市）	浜松市

4 先進事例視察を通じたネットワークづくり

視察先:UNMANNED無人駅の芸術祭／大井川
参加者:コロナ対策のため対象を絞り、4日間に分けて実施

参加人数

	まちづくり	産業	観光	移住	文化	その他	計
行政	8	7	1	4	2	7	29
団体	3		1		2		6
住民		2		2			4
企業	1		1	1			3
計	12	9	3	7	4	7	42

県内で、まちづくりや観光、福祉、教育など様々な分野で活動している人達に、アートプロジェクトへの理解を深め、今後の活動に活かしてもらうことを目的に、先進事例の視察研修を実施した。

5 超老芸術

高齢者のユニークな芸術表現取材し、WEB サイト等で紹介した。

●紹介した人数:13人



6 オンラインセミナー 「お点前ちょうだいいたします」

県内で創造的な取組を主導し、地域の未来づくりを行っている人々をゲストに迎え、オンライン(ライブ+アーカイブ)によるセミナーを開催した。

タイトル	ゲスト	時期
FPやアーティストがまちづくりに関わることについて	山田知弘(南日の出企画代表取締役) 戸井田雄(Atelier&Hostelナギサウラ店主)	11月
日本茶を通してみつける暮らしと営み	新谷健司 (㈱クラフト・ティー代表取締役、㈱経営参謀代表取締役)	12月
ラッパの音を追いかけて～身近な音楽文化の再考～	奥中康人(静岡文化芸術大学教授)	12月
五感で継承する～「食」「音楽」から感じる森町の舞楽～	一木敏哉(懐石いっ木店主) 古川はるな(フルーティスト、音楽博士)	1月
こども×アート×テクノロジー ～時代のつなぎ目で考える～	持塚三樹(現代美術家) 戸田佑也(㈱あらまほし代表取締役)	2月

7 オンライン寄合・へそちゃ会β版

オンライン上に、月2回、自由に雑談できる寄合のような場を設け、対話の広がりから、顕在化していない社会課題やニーズを把握するとともに、分野・地域・世代を越えたゆるやかなネットワーク形成につなげた。

●参加者数:延べ150人



8 相談窓口の運営

プログラム・ディレクター、コーディネーター、弁護士、税理士等が、アーティストや文化団体、行政、企業等の相談に応じた。

●相談件数:158件

アーツカウンシルしずおか
2021年度事業の詳しい実施状況は
【アーツカウンシルしずおか
アニュアルレポート2021】を参照のこと

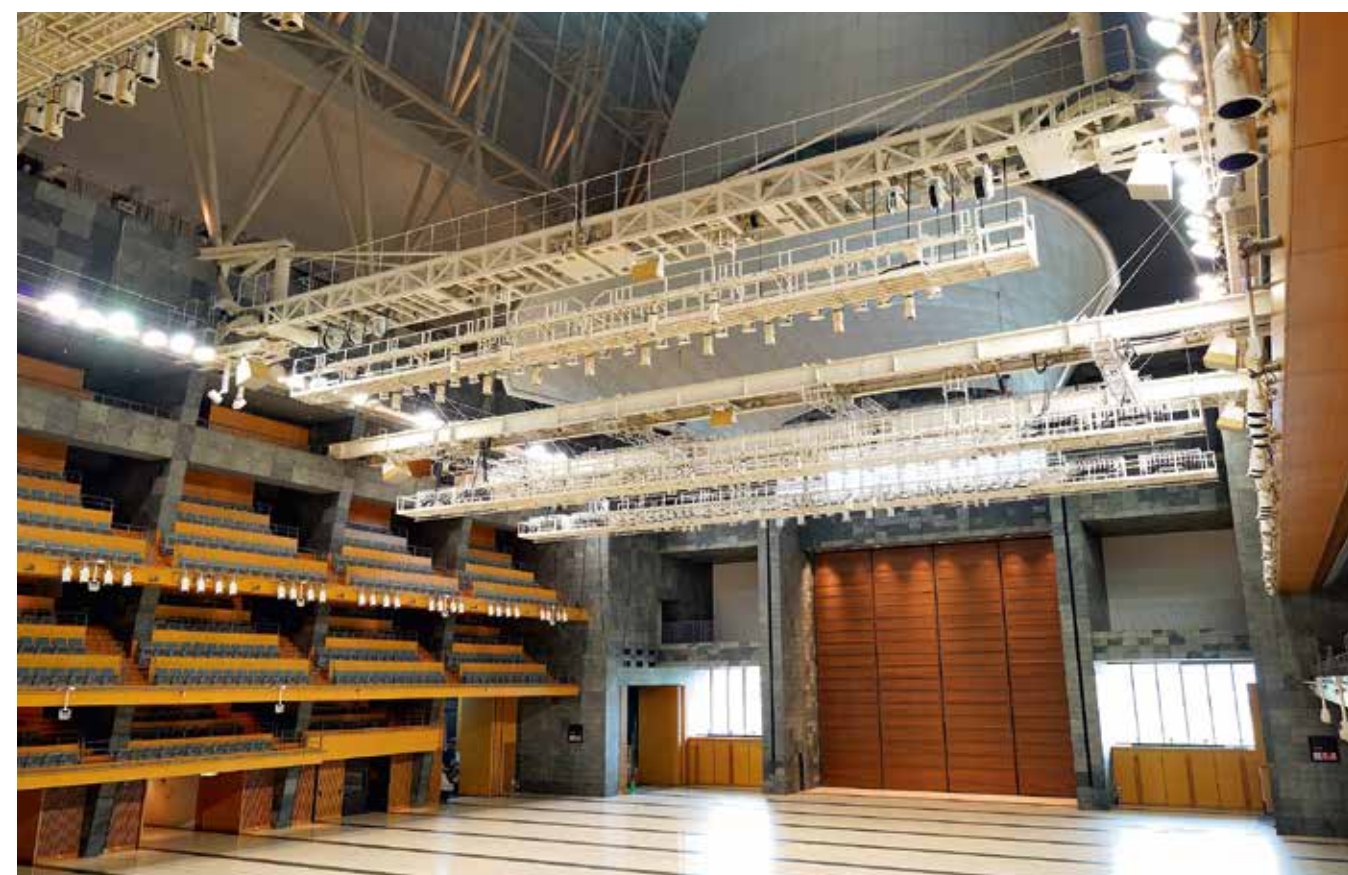


グランシップの管理運営



集いをささえるグランシップ

「学術・文化および芸術の振興並びに国内外との交流を図る」というグランシップの設置目的に沿って、複合施設の特色を生かした多くの学術大会や文化催事などの貸館事業を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により予約申込が減少しているが、優先予約制度を活用し、アフターコロナを見据えて全国規模の学会・大会の誘致を積極的に行った。



特定天井対策工事を終えたグランシップ大ホール・海

グランシップの貸館事業

県民が学術・文化芸術を創造・発信する場を提供した。
催事の開催にあたり、利用者に寄り添った提案やアドバイスを行い、スムーズな運営を支援した。

学術大会・大規模大会の開催

第49回日本頭痛学会総会

11/19(金)~21(日) 全館 約400人
主催:静岡赤十字病院

当大会は年次総会として毎年開催され、今回は頭痛医療の均てん化をめざし、中部地方で開催する初の総会となった。メインテーマは「Sunrise of new headache management」とし、遠隔診療や医療連携を包括した新しい頭痛医療を推進し、さらには現在直面している新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための情報を共有する学会として開催。会期中の来場者数は全国から延べ400名にのぼった。各会場の出入口にアルコール消毒液を配置し、演台には登壇者の飛沫感染防止のためのアクリルパネルを設置した。また、WEB開催が主流のなか今回はハイブリッドで開催し、来場できない参加者への配慮もおこなった。



富士山が見える会場で名産品などの販売も実施でき、静岡らしさをアピールできた。

出展者

最大2年前からご予約OK!

大・中ホールではご利用日の2年前から、その他のホールと展示ギャラリーは1年前からご予約を受け付けています。また全国規模のコンベンション等は、特例として通常の予約開始日に先駆けてお申込みが可能な場合もございます。ぜひお早めにご相談ください。

●予約受付開始日(休館日を除く)

大ホール、中ホール	利用開始日2年前の同月の初日
会議ホール、交流ホール、展示ギャラリー、映像ホール	利用開始日1年前の同月の初日
会議室・リハーサル室・練習室	利用開始日6か月前の月の初日

県民の文化活動を支える

Mindy & Sacra Autumn Concert

10/17(日) 中ホール・大地 約300人
主催:Sacra

“大人のための合唱部”Sacra創立6年目にしてはじめての演奏会の開催。出身地や居住地など静岡の土地に縁がある団員が大半で、拠点も静岡を重視している。開催に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大を理由に直前まで開催可否や開催方法について検討した。当初は有料での開催を予定していたがより多くの方々に楽しんでもらうよう無料での開催とし、当日は多くの観客を動員し満足度の高い公演となった。感染症拡大の対策として、一席ごと間隔をあけての着席やアルコール消毒液の設置を実施し、出演者は合唱中もマスク着用を徹底して演奏を行った。

お客様にも「聴く熱意」が感じられ、出演する私たちも応えられるよう演奏した。 出演者

コロナで我慢していたが、久々に非日常を感じられた。有意義な時間を過ごせた。 来場者



準備・リハーサルの時間帯は料金がお得!

ホール等で公演を行う場合、準備や撤去、またはリハーサルのために使用する時間帯は、施設利用料が基本料金の半額となります。県民の皆様の文化芸術活動の他、様々な事業にご活用ください。

●詳細は、施設利用料金表をご覧ください。



利用者サービスの向上

アフターコロナ時代にも通用する、サービスの提供を目指して施設をより便利に活用する施策を実施した。

TOPIC 1 高速光回線の導入

対面開催とリモート開催を融合したハイブリッド型催事への対応のため、9階から11階の各会議室及び会議ホール・風において占有の高速光回線の貸出を開始した。また、WiFiルーターも合わせて貸出しており、ワーキングスペースとしてより快適な会議室へ整備した。



TOPIC 2 キャッシュレス決済の導入

決済の迅速化および非接触化をはかるためキャッシュレス決済を導入し、クレジットカード、QRコード決済だけでなく、交通系ICや電子マネーなど幅広い支払いを可能とした。



TOPIC 3 レストランのリニューアルオープン

休業していた館内レストランが「bakery&cafe ^{ギャレイ} GALLEY」としてリニューアルオープン。グランシップにちなんだ船のイメージを踏襲した内装やメニューが採用されている。イートインメニューのほか、テイクアウトのメニューも、こだわりの製法で焼き上げた食パンをはじめパンやデザートも多種取り揃え、季節の限定メニューも提供した。



TOPIC 4 グランシップ内の全施設を「360°ビュー」で公開

グランシップのホームページで館内の様子を閲覧できる「360°ビュー」で、利用可能な施設全ての画像を公開した。「施設ガイド」のページにマップが表示されており、場所を選択することでその場所からの視点で施設を360°見回すことが可能。ズーム機能を使用し細かく確認できるため、会場を訪れることなく施設の様子を把握できるようになった。



●2021年度来館者数…222,432人

●施設の稼働実績 全体の稼働は67.4% WEBによる中小会議室・練習室の予約率は61.2%

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	ホール系計
稼働実績	193日	114日	98日	132日	249日	786日
利用可能日数	268日	141日	197日	196日	331日	1,133日
稼働率 稼働実績／利用可能日数	72.0%	80.9%	49.7%	67.3%	75.2%	69.4%

●利用者アンケート結果

回答数	4,261件/5,232件（回答率81.4%）	
結果	施設・備品が使いやすい	90.6%
	館内サインがわかりやすい	89.8%
	スタッフの対応が良い	91.0%

●グランシップ利用者会議

開催日	R4/3/18（金）
場 所	グランシップ910会議室
参 加 者	館内ネット回線を使用した4団体、2個人
意見内容	●インターネット回線の拡充 ●新型コロナウイルス感染症拡大対策内容 ●周辺の宿泊施設

●催事開催支援サービス グランシップでの催事開催にあたって必要な各種手配をワンストップで支援するサービス

分 類	サ ー ビ ス の 内 訳
飲 食	弁当、ケータリング、パーティー
設 営	音響照明等セッティング、看板、生花、会場設営
清掃片付け	レイアウト転換、ごみ処理
そ の 他	光回線貸出、コピー等事務サポート

●エネルギー使用実績

電 気	5,005,850 kWh
ガ ス	470,507 m ³
エネルギー総量	68,838 GJ

主な貸館事業一覧

開催日	催 事 名	主 催 者 名	主な使用施設
音楽・演劇・ダンスなど			
4/25（日）	中部日本ダンス競技静岡県大会	静岡県ボールルームダンス連盟	大ホール・海
8/22（日）	中部日本ダンス競技静岡県大会	静岡県ボールルームダンス連盟	大ホール・海
9/5（日）	Playsガーシュイン vol.8 ～懐かしの映画音楽～	一般財団法人富士山静岡交響楽団	大ホール・海
10/10（日）	SHIZUOKA ダンスコレクション	静岡県ダンススポーツ連盟	大ホール・海
10/17（日）	Mindy & Sacra Autumn Concert	Sacra	中ホール・大地
10/31（日）	ふじのくに芸術祭2021「翔の会」	静岡県バレエ協会	中ホール・大地
12/1（水）	SixUnlimitedコンサートツアー2021	株式会社静岡リビング新聞社	中ホール・大地
12/4（土）	第1回しぞ〜か芸能フェス feat.山田ふみりー	しぞ〜か芸能フェス実行委員会	中ホール・大地
12/5（日）	ふじのくに芸術祭2021（第61回静岡県芸術祭）合唱コンクール	静岡県合唱連盟	中ホール・大地
12/9（木）～13（月）	第30回愛護ギャラリー展	静岡県知的障害者福祉協会	展示ギャラリー1
12/9（木）	矢野颯子 さとがえるコンサート2021	株式会社サンデーフォークプロモーション	中ホール・大地
12/11（土）	静岡豊田幼稚園 音楽発表会	静岡豊田幼稚園	中ホール・大地
1/8（土）～9（日）	第9回静岡県民ミュージカル「クラウン・オブ・ソフィア」	静岡県民ミュージカル実行委員会	中ホール・大地
3/20（日）	第16回静岡県フルートコンクール	静岡県フルート協会	リハーサル室・練習室

展示

5/26（水）～27（木）	静岡県洋菓子作品展	静岡県洋菓子協会	展示ギャラリー1
6/9（水）～13（日）	第30回記念静岡県女流美術協会展	静岡県女流美術協会	展示ギャラリー1
9/26（日）～10/3（日）	ふじのくに芸術祭2021 美術展	静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化政策課	展示ギャラリー1
10/7（木）～11（月）	静岡県日本画展	静岡県日本画連盟	展示ギャラリー1
12/15（水）～19（日）	ふじのくに芸術祭2021 写真展・学生アートフェスティバル	静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化政策課	展示ギャラリー1
1/8（土）～16（日）	第25回静岡県すこやか長寿祭美術展	公益財団法人しずおか健康長寿財団	展示ギャラリー1
3/17（木）～21（月・祝）	第47回静岡県工芸美術展	静岡県工芸家協会	展示ギャラリー1

学会

4/16（金）	徳川家臣団大会2021徳川みらい学会第1回講演会	徳川みらい学会	大ホール・海
9/10（金）～11（土）	第3回SING Live研究会	SING Live研究会	9階・10階会議室
9/11（土）	第44回日本膝・胆管合流異常研究会	静岡県立こども病院 小児外科	会議ホール・風
10/24（日）	第58回静岡県腎不全研究会	静岡県腎不全研究会	会議ホール・風
11/11（木）	第48回静岡県公立小中学校教頭会研究大会	静岡県公立小中学校教頭会	中ホール・大地
11/19（金）～21（日）	第49回日本頭痛学会総会/第26回日本口腔顔面痛学会学術大会	静岡赤十字病院／静岡市立清水病院	グランシップ 全館
11/26（金）～27（土）	第26回静岡健康・長寿学術フォーラム	静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会	会議ホール・風
1/29（土）～30（日）	第10回日本婦人科ロボット手術学会	静岡県立総合病院	会議ホール・風 他
2/18（金）～19（土）	第51回日本小児消化管機能研究会	静岡県立こども病院 小児外科	会議室1001

式典・大会・講演など

10/17（日）	2021年度宅地建物取引士資格試験	公益社団法人 静岡県宅地建物取引業協会	大ホール・海
11/2（火）	新技術交流イベントin Shizuoka 2021	静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課	大ホール・海
11/5（金）	日本赤十字社静岡県支部創立130周年記念赤十字大会	日本赤十字社 静岡県支部	大ホール・海
12/18（土）	E.W.クラーク来静150周年記念シンポジウム	E.W.クラーク顕彰事業実行委員会	交流ホール
1/3（月）	2022静岡市成人式	静岡市子ども未来局青少年育成課	大ホール・海
1/16（日）	JAIFA静岡県協会50周年イベント	公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会静岡県協会	中ホール・大地
1/23（日）	金融財政事情研究会 検定試験会場	一般社団法人 金融財政事情研究会	会議ホール・風他
1/25（火）～26（水）	TECH BEAT Shizuoka	静岡県経済産業部産業イノベーション推進課	グランシップ 全館
3/6（日）	令和3年度伊豆文学フェスティバル（第25回伊豆文学賞、伊豆文学塾）	伊豆文学フェスティバル実行委員会	交流ホール
3/19（土）	ふじのくに地球環境ミュージアム公開シンポジウム	ふじのくに地球環境史ミュージアム	会議ホール・風
3/20（日）	ものづくりプラモデル大学特別講座「次世代へつなぐ模型の世界首都」	静岡市産業振興課	会議ホール・風

施設のご予約・サービスに関するお問い合わせ

（公財）静岡県文化財団 貸館事業課 催事サービスグループ

☎ 054-203-5713（受付時間9:00～20:00 ※休館日を除く）

✉ yoyaku@granship.or.jp

空き状況は
WEBで
ご覧いただけます



グランシップ

検索



施設予約はコチラから

データで見るその他の取り組み

公益財団法人静岡県文化財団は、多岐にわたる事業や取り組みを通じて、県民文化の振興を図っています。これまでに取り上げていないものに関して、データを元にご紹介します。

文化活動団体への顕彰

●第35回 ふじのくに地域文化活動賞

県民文化の振興を通して県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに資するため、県内各地で地域活性化に貢献する、優れた文化活動に取り組む文化団体を表彰した。

募集期間	9/15(水)~12/15(水)
応募団体数	15団体
選考委員会	R4年2/21(月) (選考委員:学識経験者、文化関係者、当財団役員等6人)

賞		団体名	所在地
地域文化活動賞(1件)	賞状、楯、賞金10万円	浜松ジュニア・ユース邦楽合奏団	浜松市
奨励賞(3件)	賞状、楯、賞金2万円	MUNA-POCKET COFFEEHOUSE	浜松市
		ARATAギャラリー	富士宮市
		東豊太鼓	静岡市
努力賞(1件)	賞状、楯、賞金1万円	沼津バレエ学園	沼津市



第35回 ふじのくに地域文化活動賞 表彰式

ふじのくに文化プログラム推進事業助成

県内の多彩な文化芸術活動や文化を「ささえる」活動を県内外に発信するために取り組んできた助成事業のうち、計3年間の助成期間における最終年度の団体助成を行った。

	団体名	補助額	事業内容	所在地
1	シズオカオーケストラ	145千円	持続可能な団体運営のための新体制づくりと情報発信	静岡市
2	特定非営利活動法人伊豆学研究会	150千円	文化財の調査担い手活動	伊豆の国市
3	浜松ジュニア・ユース邦楽合奏団	150千円	日本の伝統音楽体験による人材育成活動	浜松市
4	アルテ・ブラーサ	150千円	新たな地域の文化創造 ~異分野と協働したアートプログラム開発と地域拠点検討~	三島市
5	特定非営利活動法人音楽の架け橋メセナ静岡	150千円	多世代にまたがる文化事業とまちおこし事業に関わるボランティアスタッフ確保のための調査事業と実践	静岡市
計	5団体	745千円	—	—

※6団体に交付決定をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、1団体の事業が中止となった。

県委託・補助事業

●子どもが文化と出会う機会創出事業

事業名	事業内容	開催回数	学校数	参加者数
地域訪問プログラム	県内プロオーケストラが県内の小中高校、特別支援学校等を訪問して行う音楽プログラム	25回	22校	4,709人
未就学児コンサート	県内プロオーケストラによる未就学児とその保護者を対象とした無料コンサート	5回	—	1,304人
計		30回	22校	6,013人

中止・変更は13回

●ふじのくに#エールアートプロジェクト事業助成金

令和2年度2次募集として交付決定した事業への助成

事業内容	助成対象期間	助成件数	助成額
静岡県内で文化芸術活動を行うプロのアーティストを対象に「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動の実施に要する経費の助成	R3年2/1(月)~9/5(日)	52件	49,305千円

グランシップの賑わい創出

●Art@東静岡(グランシップ) 作品展示

JR東静岡駅北口の「東静岡アート&スポーツ／ヒロバ」で行われている「Art@東静岡(ヒロバ)」と連動して、県内アーティストを活用したグランシップ館内装飾を実施した。



展示期間：9/22(水)～R4年3/7(月)
作 者：千葉広一
作 品 名：「幸いの在り処」

●グランシップレコードコンサート

賑わい創出の一貫として、映像ホールの設備を活用して気軽にレコード音楽を楽しめる企画を実施した。

開催日	テーマ	参加者数
10/22(金)	プリティッシュ3大ロックバンドの60年代シングルヒットを聴く!	28人
12/24(金)	フュージョン前夜のブルーノートジャズを聴く!	24人
R4年2/25(金)	80年代産業ロックを聴く!	16人

※新型コロナウイルス感染症対策で人数制限を設け実施

グランシップの施設管理

●特定天井対策工事等

県の特定天井改修工事と連携し、財団の内部留保資金を活用して展示ギャラリーの壁改修や会議室のカーペット貼替、照明のLED化を実施し、2021年10月1日に全館リニューアルオープンを迎えた。

R3休館施設	休館期間
中ホール	～9/30(木)
交流ホール 展示ギャラリー 会議室(11,12階)	～7/31(土)

●防災訓練の実施

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員とだけでなく、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を実施した。また、本番の総合防災訓練前に事前訓練を複数回行い、職員の防災スキルの向上を図った。



日 時	内 容
4/13(火)	グランシップ防災訓練
5/18(火)	グランシップ防災訓練
6/15(火)	グランシップ防災訓練
7/13(火)	グランシップ総合防災訓練(火災想定)
9/14(火)	グランシップ防災訓練
11/24(水)	グランシップ防災訓練
12/6(月)	グランシップ防災訓練
R4年 1/18(火)	グランシップ防災訓練
R4年 3/8(火)	グランシップ総合防災訓練(地震想定)

静岡県文化財団を支える人々、2021年度ご協賛・ご協力企業

グランシップサポーター

文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図った。

(令和4年4月30日現在)



イベントサポーター研修の様子

業務区分	内 容	登録者数
広報サポーター	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	64人
イベントサポーター	受付、もぎり、会場案内、避難誘導等	45人
撮影サポーター	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	19人
託児サポーター	公演時の託児サービス等	8人
計	(兼務4人を含む)	136人

グランシップ友の会(令和4年3月31日現在)

①個人会員 12,477人

②法人会員 22社

【特別会員】4社

静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社

【一般会員】18社

株式会社ステージ・ループ静岡 静岡信用金庫 静岡県ビルメンテナンス協同組合
株式会社ピーエーシー 株式会社テレビ静岡 ダイードドリコ株式会社
株式会社イノウエテクニカ 静岡エフエム放送株式会社 株式会社日本平ホテル
株式会社コアズ 学校法人常葉大学 丸茂電機株式会社
株式会社ことのは社 株式会社東京企画装飾静岡 株式会社ニッセイコム
SUS株式会社 国立大学法人静岡大学 有限会社近藤リース

特別賛助会員

株式会社イノウエテクニカ

ご協賛・ご協力企業

静岡ガス株式会社 株式会社しずおかオンライン 特定非営利活動法人ウイング・ハート
株式会社アイエイアイ 生活協同組合ユーコープ 株式会社静岡リビング新聞社
株式会社木村铸造所 有限会社きこのいい羊達 ダイードドリコ株式会社
清水食品株式会社 静岡県牛乳普及協会 株式会社UACJ製箔
株式会社東海軒 ホテルグランヒルズ静岡(ブリーズベイ静岡株式会社)
株式会社明治 MARK IS 静岡(三菱地所プロパティマネジメント株式会社)

2021年度(公財)静岡県文化財団決算状況

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業等			法人会計	内部取引消去	合 計
	文化・芸術	収益事業	友の会	小 計			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	3,643,724	0	0	0	2,429,150	0	6,072,874
事業収益	692,969,003	412,220,510	7,598,681	419,819,191	9,672,851	△ 3,829,239	1,118,631,806
受取補助金等	223,089,563	94,800	0	94,800	0		223,184,363
特別賛助会会員費	100,000	0	0	0	0	0	100,000
雑収益	0	1,565,734	0	1,565,734	84,500	0	1,650,234
経常収益計	919,802,290	413,881,044	7,598,681	421,479,725	12,186,501	△ 3,829,239	1,349,639,277
(2) 経常費用							
事業費	986,548,101	384,249,237	7,420,539	391,669,776	—	△ 3,829,239	1,374,388,638
管理費	—	—	—	—	17,652,142		17,652,142
経常費用計	986,548,101	384,249,237	7,420,539	391,669,776	17,652,142	△ 3,829,239	1,392,040,780
(3) 評価損益等計	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 66,745,811	29,631,807	178,142	29,809,949	△ 5,465,641	0	△ 42,401,503
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	—	0
3 他会計振替額	12,396,732	△ 17,820,823	△ 41,550	△ 17,862,373	5,465,641	—	0
4 法人税、住民税等	0	3,923,600	0	3,923,600	0	—	3,923,600
当期一般正味財産増減額	△ 54,349,079	7,887,384	136,592	8,023,976	0	0	△ 46,325,103
一般正味財産期首残高	103,524,927	197,237,421	11,293,124	208,530,545	338,780	—	312,394,252
一般正味財産期末残高	49,175,848	205,124,805	11,429,716	216,554,521	338,780	—	266,069,149
II 指定正味財産増減の部							
(1) 基本財産評価益	0	0	0	0	0	—	0
(2) 基本財産評価損	5,551,920	0	0	0	3,701,280	—	9,253,200
当期指定正味財産増減額	△ 5,551,920	0	0	0	△ 3,701,280	—	△ 9,253,200
指定正味財産期首残高	627,109,544	0	0	0	418,073,029	—	1,045,182,573
指定正味財産期末残高	621,557,624	0	0	0	414,371,749	—	1,035,929,373
Ⅲ 正味財産期末残高	670,733,472	205,124,805	11,429,716	216,554,521	414,710,529	—	1,301,998,522

グランシップ概要

正式名称	静岡県コンベンションアーツセンター
所 在 地	静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
開館時間	午前9時～午後10時
休 館 日	不定期、12月29日～1月3日
敷地面積	36,009.5㎡
建築面積	13,647.3㎡
延床面積	60,630.0㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階 数	地上12階、地下2階
建物全長	約200m
最 大 幅	約80m
最高高さ	約60m
開 館	平成11年3月13日
駐 車 場	約400台

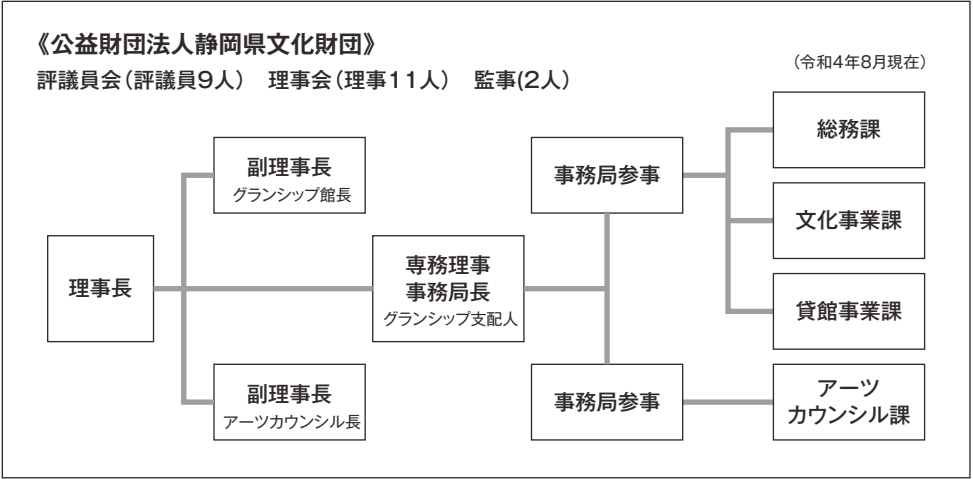
グランシップ利用状況

主要施設稼働率							(単位：％)
年度	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	全体平均	
令和元年	79.1	79.7	76.2	74.1	77.9	78.2	
令和2年	20.8	16.5	18.0	13.5	27.3	19.6	
令和3年	72.0	80.9	49.7	67.3	75.2	69.4	
※R2.9月～R3.2月は工事により全館休館。R3.3月～9月は一部休館。							

グランシップ来館者数			(単位：人)
年度	来館者数	累計	
令和元年	635,805	14,888,893	
令和2年	39,417	14,928,310	
令和3年	222,432	15,150,742	

沿革

昭和59年5月	● 財団法人静岡県文化財団設立(基本財産：県9億円、市町村1億円、県民等47万円) 「文化鑑賞の提供事業」：地域音楽公演 「地域文化の振興事業」：文化団体への助成 「文化意識の啓発事業」：地域文化活動の顕彰 「文化情報の提供事業」：静岡の文化(季刊)の発行
昭和60年1月	● 季刊「静岡の文化」創刊号発行
平成6年	● (財)静岡県文化財団10周年記念出版「今川時代とその文化」発行
平成7年12月	● 静岡県が県民国際プラザ(仮称)建築工事着手
平成8年	● 静岡県は県民国際プラザ(仮称)の名称を「静岡県コンベンションアーツセンター」、愛称を全国公募により「グランシップ」に決定
平成10年11月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ管理運営業務受託、テストラン実施(～11年2月)
平成11年3月13日	● グランシップ開館
平成11年3月～	● グランシップ開館記念事業開催(アニメーションワークス、バルーンアートフェスティバル 他)
平成16年3月～	● グランシップ開館5周年記念事業開催(糸操り人形「夢の浮橋～人形たちの『源氏物語』」、新作能「利休」他)
平成18年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
平成20年2月～	● グランシップ開館10周年記念事業(オペラ「椿姫」、北大路魯山人展 他)
平成21年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第2期指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
平成23年2月	● 季刊「しずおかの文化」100号で廃刊、新たに「しずおかの文化新書」発行
平成23年4月	● 文化団体への助成を見直し、「ふじのくに文化芸術振興助成」制度開始 地域音楽公演に代わり、「中高生芸術鑑賞支援(県内の中高生がグランシップで芸術鑑賞する際の交通費支援)」事業開始
平成24年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第3期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
平成24年12月	● グランシップと中国浙江省杭州劇院との間で友好交流協定締結
平成25年4月	● 公益財団法人静岡県文化財団としてスタート
平成27年3月末	● 新情報誌「GRANSHIP」発刊
平成29年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第4期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
平成31年3月～	● グランシップ開館20周年記念事業開催(春の音楽祭等)
令和3年1月	● (公財)静岡県文化財団内に「アーツカウンシルしずおか」を設置
令和3年4月	● グランシップ1階に「アーツカウンシルしずおか」を開所
令和4年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第5期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)



《グランシップ運営体制》

グランシップサポーター

- 【舞台設備運営】株式会社ステージ・ループ静岡
- 【設備保守・インフォメーション】株式会社イノウエテクニカ
- 【警備】株式会社コアズ
- 【清掃】静岡県ビルメンテナンス協同組合
- 【レストラン・ケータリング】株式会社なすび